

Aquage

自動水栓(発電仕様)

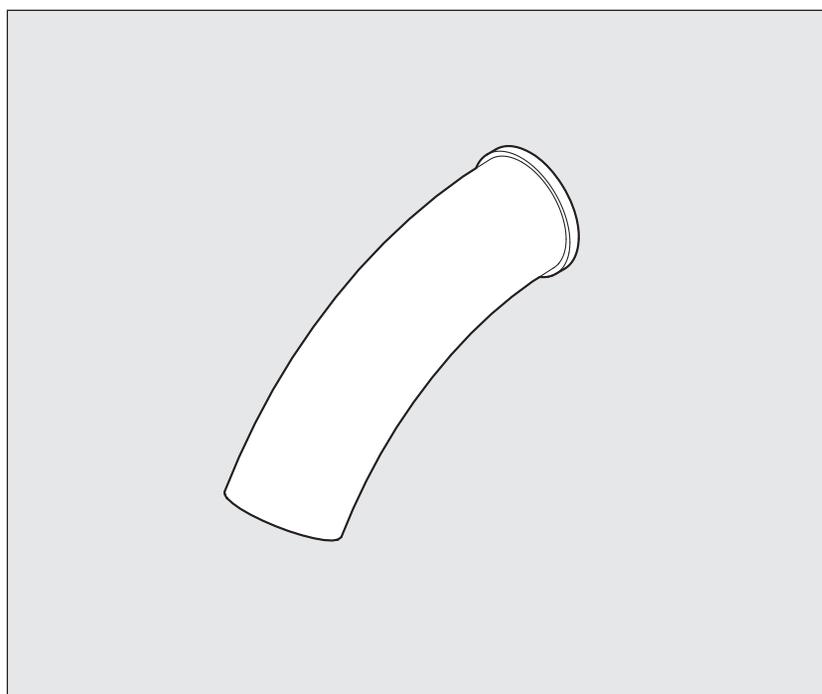
..... EY100HE-13

自動水栓(AC100V仕様)

..... EY100-13

施工・取扱説明書

施工、ご使用の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工、ご使用ください。



お客様へ

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

なお、保証書にお買上げ（お取付け）年月日、販売店（工事店）名の記入のない場合はお買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

工事店様へ

施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、本書と共にお客様へお渡しください。

本製品について

各部の名称..... 1~2
寸法図..... 3~4

施工について

施工に関する安全上のご注意..... 5~6
使用条件..... 7
施工前のご注意..... 7
梱包明細..... 8
施工手順..... 9~15

ご使用について

ご使用に関する安全上のご注意..... 16~20
吐水・止水..... 20
センサーについて..... 21
LED照明のOFF機能について..... 21
電池の取替え（発電仕様の場合）..... 22~23
凍結予防..... 23

日頃のお手入れ

製品の掃除..... 24
センサー部の掃除..... 24
ストレーナ・吐水口の掃除（発電仕様の場合）..... 25
ストレーナ・吐水口の掃除（AC100V仕様の場合）..... 26

定期的な点検

配管周りの水漏れ・器具のガタツキ..... 27
流量の確認..... 27

こんなときは

故障？ その前に（発電仕様の場合）..... 28
故障？ その前に（AC100V仕様の場合）..... 29
本製品の構造..... 30~31

その他

仕様..... 32
発電のしくみ（発電仕様の場合）..... 33
リチウム電池の寿命（発電仕様の場合）..... 33

保証とアフターサービス

保証とアフターサービス..... 34
保証書..... 裏紙

発電仕様【EY100HE-13】の場合

●全自動システム

赤外線センサーとマイコン制御により、吐水口の下に差し出された手を感知して自動吐水、手を遠ざけると自動止水します。

●LED照明

吐水時に泡沫水流をあわく光らせます。(OFF機能有 参照：P21)

●発電仕様

水流を利用した超小型高効率水力発電機により、全自動システムの稼動に必要な電力をまかないます。発電した電力は、発電ユニットに蓄電されます。

5秒間の吐水【流量：4L/分】を1日10回以上の頻度で使用して頂ければ、電池交換作業の頻度が少なく、長く使用して頂けます。

●バックアップ電池

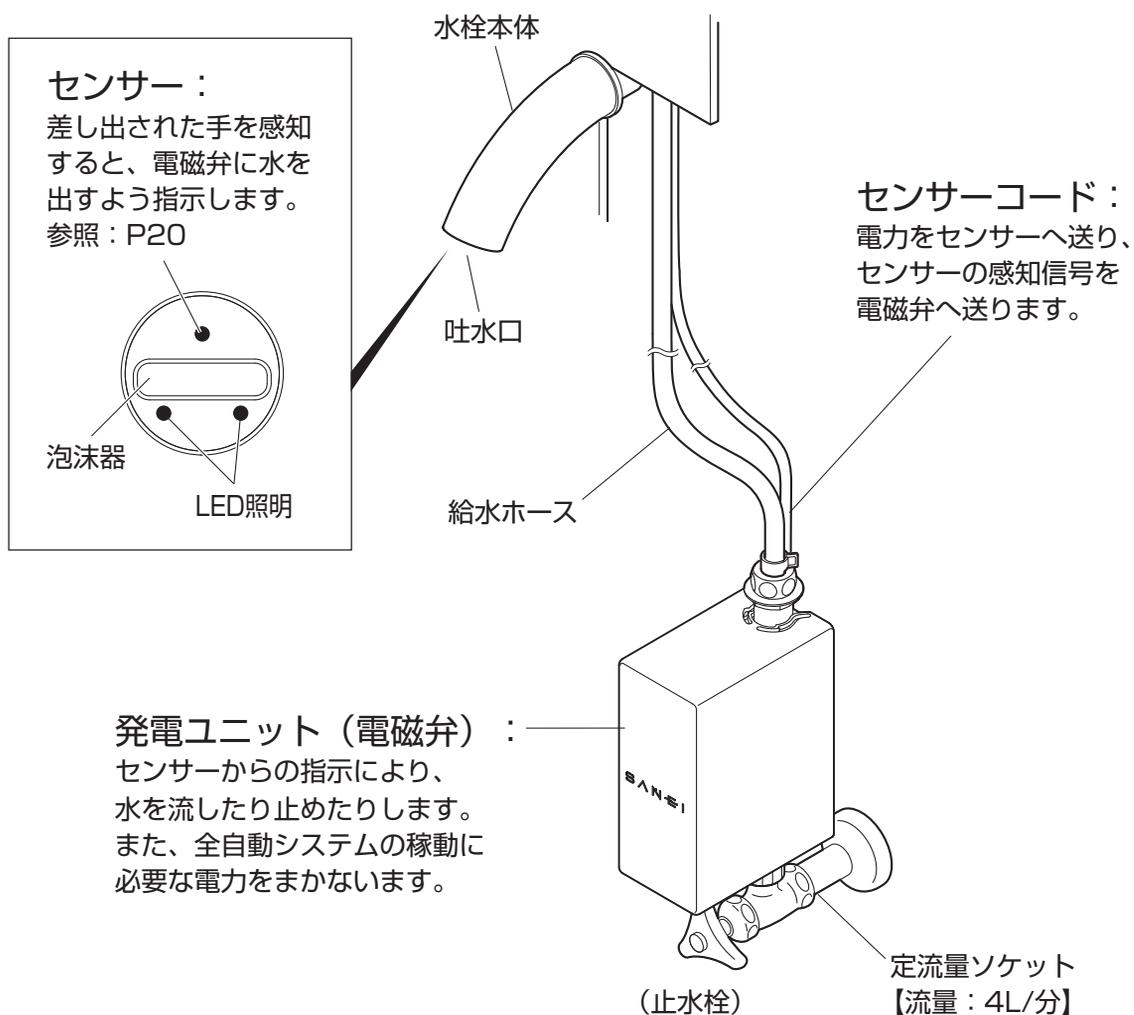
全自動システムの稼動に必要な電力が足りない場合、一時的に電力を補う役割をします。

(出荷時、発電ユニットには蓄電されていませんので、初期作動の際はバックアップ電池の電力を使用します。)

バックアップ電池は、市販のリチウム電池(単3形)4本を使用しており、大型電気店などでお求め頂けます。

(電池の交換方法については、P22～23を参照ください。)

緊急の場合は、市販のアルカリ乾電池(単3形)やマンガン乾電池(単3形)でも作動しますが、電池寿命が短いため、お早めにリチウム電池(単3形)にお取替ください。



●水勢調節及び製品の点検を容易にするために、別途止水栓をご用意ください。

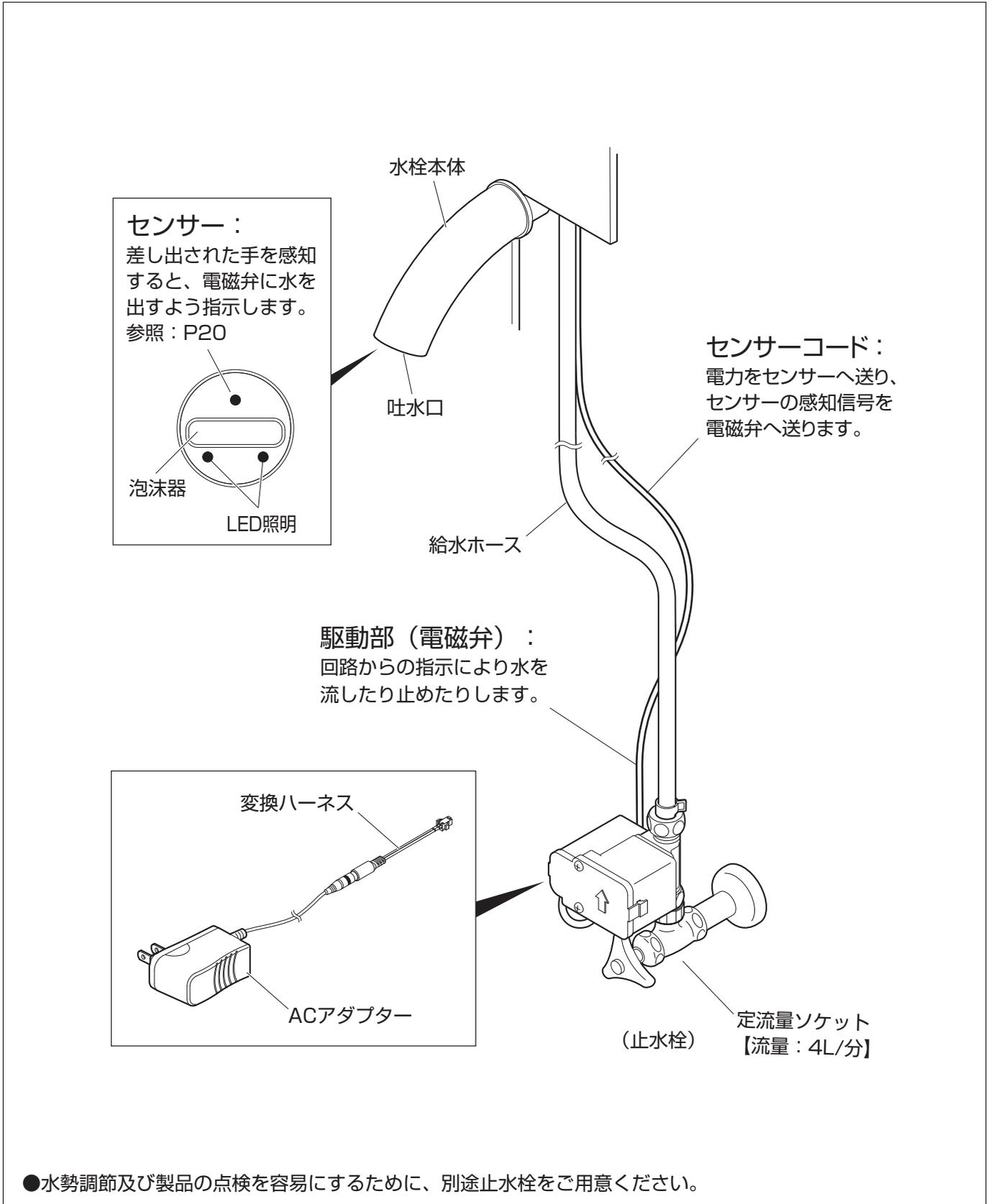
AC100V仕様【EY100-13】の場合

●全自動システム

赤外線センサーとマイコン制御により、吐水口の下に差し出された手を感知して自動吐水、手を遠ざけると自動止水します。

●LED照明

吐水時に泡沫水流をあわく光らせます。(OFF機能有 参照：P21)



●水勢調節及び製品の点検を容易にするために、別途止水栓をご用意ください。

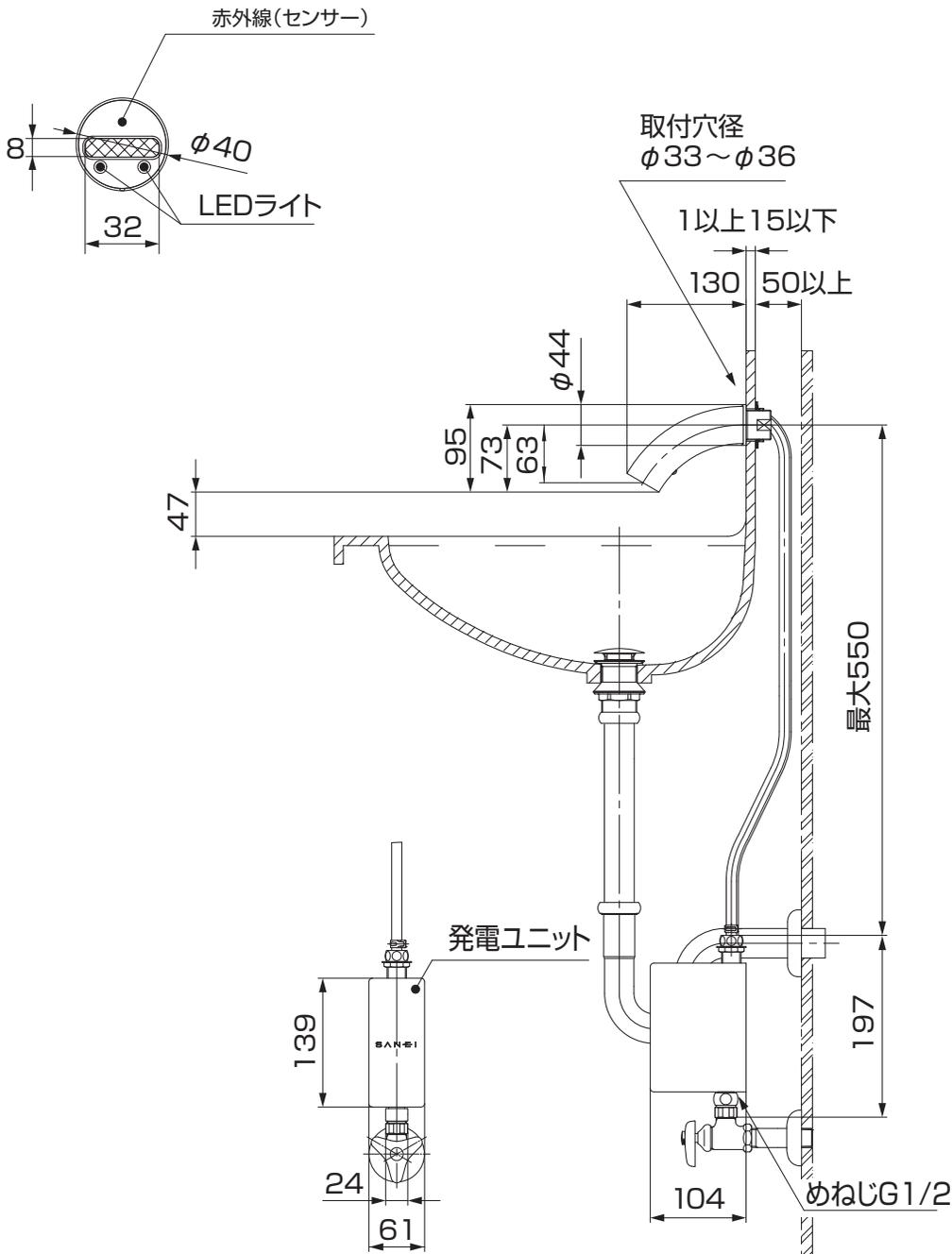
本製品について 寸法図

●仕様により、寸法が異なる場合があります。

発電仕様【EY100HE-13】の場合

品名	品番
自動水栓	EY100HE-13
洗面化粧台セット	WF901-900-RIV-F2
アプレナシトランプ	H750-32
止水栓本体	V22A-X2-13

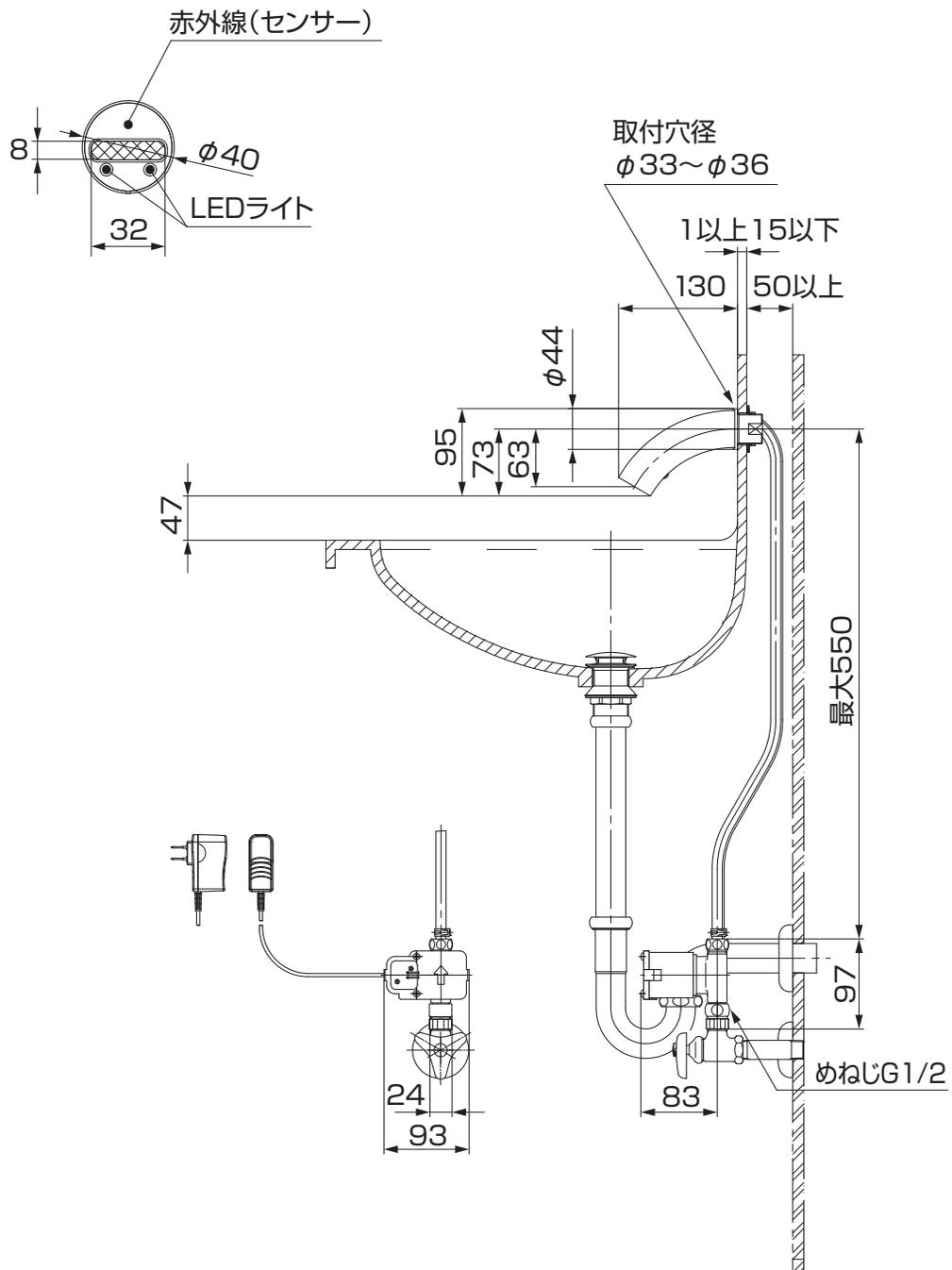
※ 表示寸法は推奨寸法ですので、現場状況に合わせて施工してください。



AC100V仕様【EY100-13】の場合

品名	品番
自動水栓	EY100-13
洗面化粧台セット	WF901-900-RIV-F2
アフレナシトラップ	H750-32
止水栓本体	V22A-X2-13

※ 表示寸法は推奨寸法ですので、現場状況に合わせて施工してください。



施工について

施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

用語および記号の説明

警告	……………「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」
注意	……………「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
	……………「注意しなさい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）
	……………「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
	……………「分解してはいけません！」
	……………「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」
	……………「水や液体をかけたり、浸けてはいけません！」
	……………「濡れた手でさわってはいけません！」
	……………「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

警告



コードを乱暴に扱わないでください。
故障や感電の原因になります。



製品に水や洗剤、汚水をかけないでください。
火災や感電、故障の原因になります。



浴室や屋外など、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。



修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
故障や感電の原因になります。



(AC100V仕様の場合)
電源は交流100V以外は使用しないでください。
火災や感電の原因になります。



(AC100V仕様の場合)
コンセントや配線器具の定格を超える使用は避けてください。
火災の原因になります。



(AC100V仕様の場合)
ACアダプターを濡れた手でさわらないでください。
火災や感電の原因になります。

⚠ 警告



(AC100V仕様の場合)
雷が発生しているときは、ACアダプターにさわらないでください。
感電の原因になります。



(AC100V仕様の場合)
電源コードをコンセントに差し込むときは根元まで十分に差し込んでください。
火災や感電の原因になります。



(AC100V仕様の場合)
ACアダプターを抜くときは、必ずACアダプター本体を持って抜いてください。
火災や感電の原因になります。



(AC100V仕様の場合)
漏電のおそれがある場合は漏電保護プラグ [別売] を使用してください。
火災や感電の原因になります。

⚠ 注意



屋外や凍結が予想される地域には、取付けないでください。
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。
凍結のおそれがある場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。



製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や水漏れの原因になります。



通水温度は40℃以下で使用してください。
40℃より高温でご使用になると、やけどをしたり、器具の寿命が短くなり水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



ストレーナの掃除をする際は、必ず止水栓を閉めてから行ってください。
水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
参照：P25～26



インバータや赤外線を用いた他の機器により、誤作動することがあります。
センサーどうしが感知し合わないよう、それぞれ離して施工してください。
誤作動の原因になります。



直射日光の当たる場所には設置しないでください。
誤作動の原因になります。



ステンレス製や鏡面の洗面器には取付けないでください。
誤作動の原因になります。



センサー正面の壁に鏡などの反射物を設置しないでください。
誤作動の原因になります。



同梱の部品以外は使用しないでください。
故障や水漏れの原因になります。

施工について 使用条件

〔水圧について〕

給水圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)
	0.1MPa	0.75MPa

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。

〔流量について〕

適正流量	3～4L/分
------	--------

〔使用温度について〕

使用最高温度	40℃以下
--------	-------

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。

〔水質・用途について〕

使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
--------	---------------

施工について 施工前のご注意

- 給水は、上水道に接続してください。
- 取付後の保守点検のために必ず止水栓（別売）と点検口を設けてください。
- 止水栓は、ストレーナ付をおすすめします。
- 開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。
- 取付けの際は、正しい向きを確認してください。
- 取付可能な洗面器（手洗器）以外は取付けないでください。
- 配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

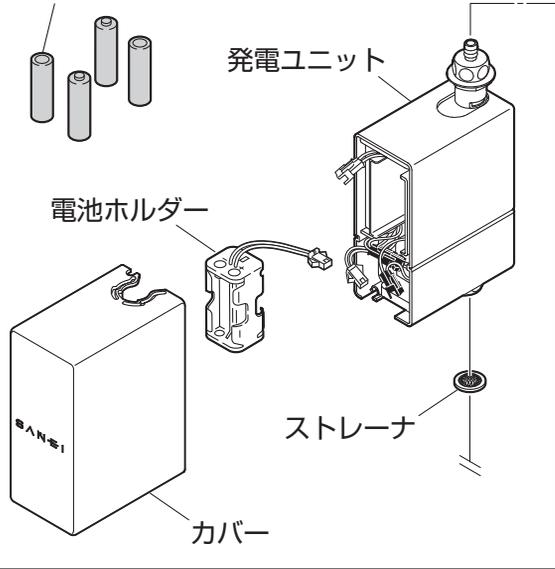
発電仕様の場合

- 発電ユニット上部に100mm以上のスペースを確保してください。
- 洗面器（手洗器）と発電ユニットが干渉しないように施工してください。
- 発電ユニットはガタツキのないように施工してください。
※ 場合によってはブラケットが必要です。別途お求めください。参照：P30
SANEI品番：R641（分岐止水栓ブラケット）
R641T-S（止水栓ブラケット）
R641T-L（止水栓ブラケット）

- 本書（施工・取扱説明書「保証書付」）×1
- 「使用方法」ラベル×1

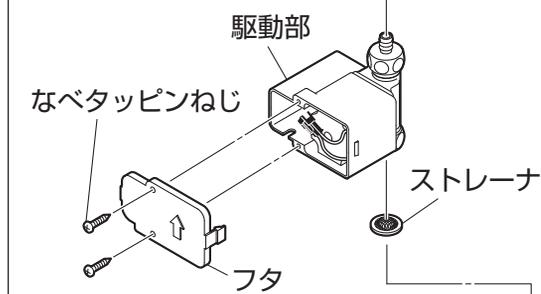
発電仕様 【EY100HE-13】の場合

バックアップ電池
【リチウム電池(単3形)】×4



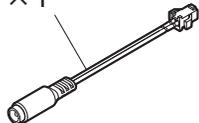
発電ユニット×1

AC100V仕様 【EY100-13】の場合

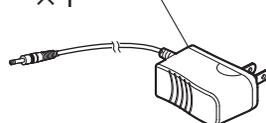


駆動部×1

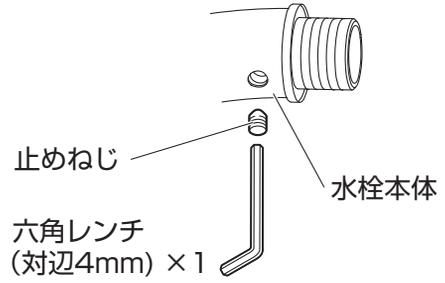
変換ハーネス
×1



ACアダプター
×1

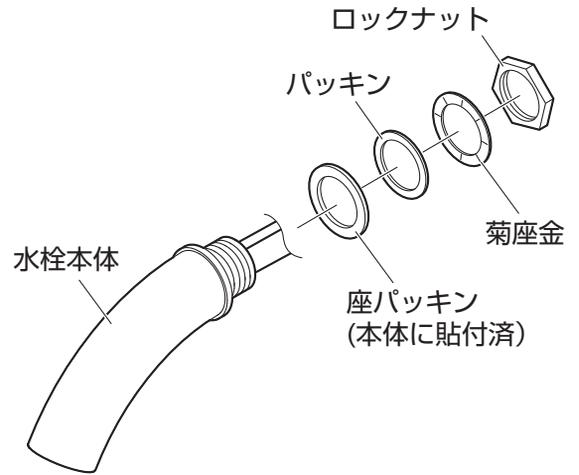


- EY100-13
- EY100HE-13

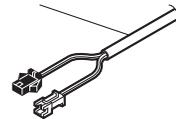


六角レンチは、メンテナンス時に必要です。
なくさないように保管してください。

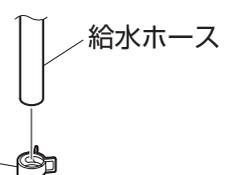
- EY100-13
- EY100HE-13



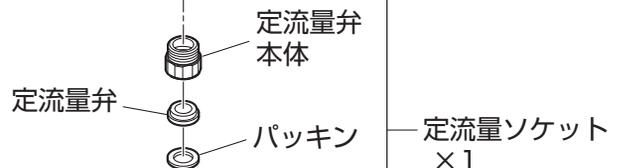
センサーコード



ホースクランプ



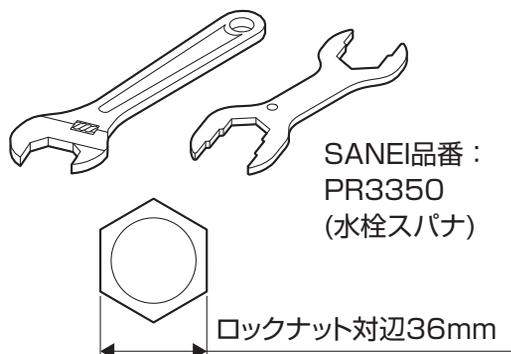
本体×1



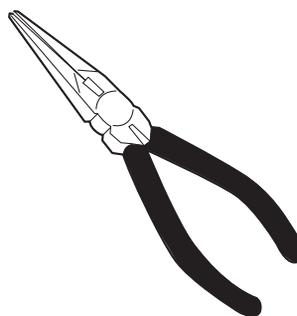
- 通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

主な工具類

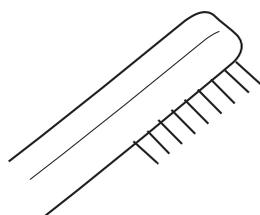
- スパナ・モンキーレンチなど：
水栓のナットがまわせる工具。



- ラジオペンチなど：
ホースクランプを固定する際に必要です。



- 使い古しのハブラシなど：
配管掃除ができるもの。



- 手袋：
ケガ防止のために着用してください。



- タオルなど：
ケガ防止や水栓保護のために使用します。

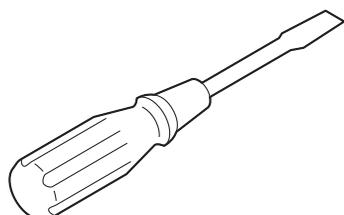


- ぞうきんなど：
配管中の残り水を拭くのに使用します。



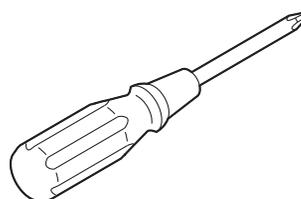
止水栓がドライバー式の場合に
必要な工具(参照：P15)

- マイナスドライバー

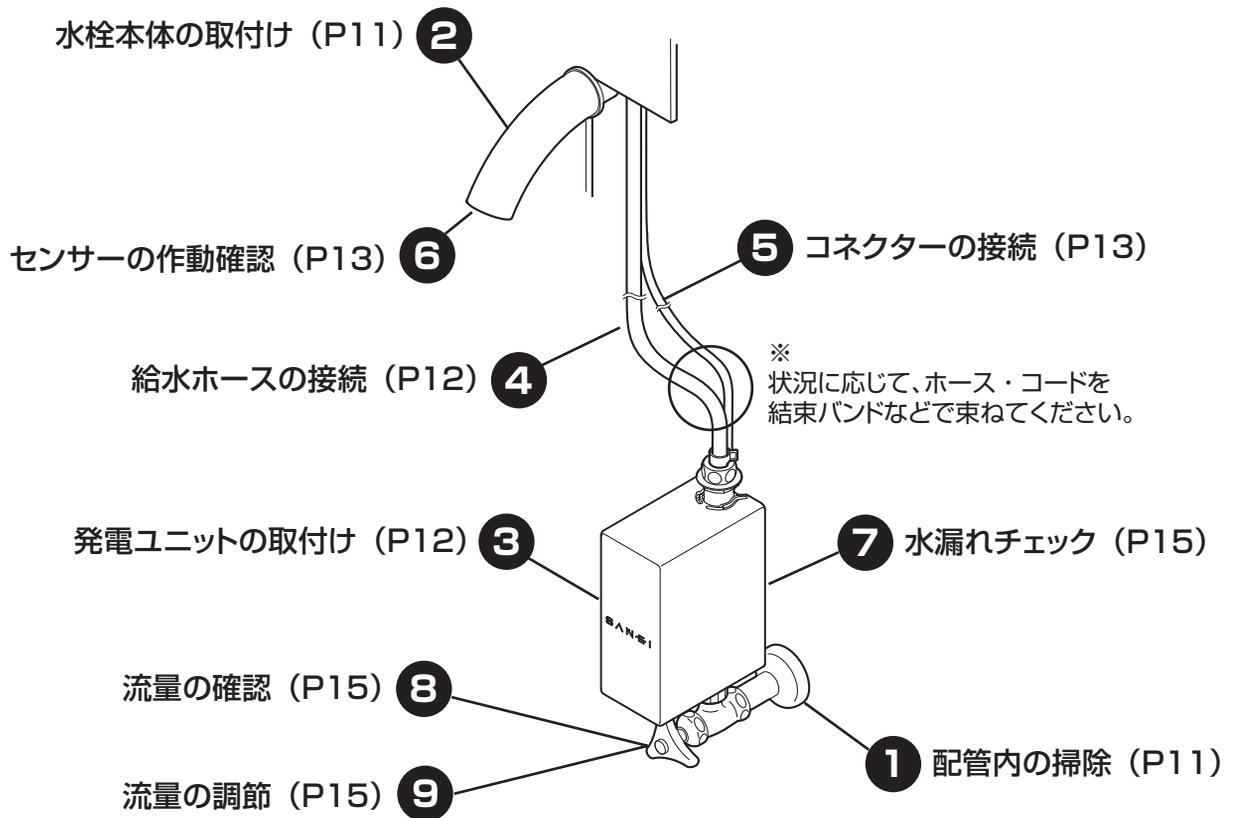


AC100V仕様の場合

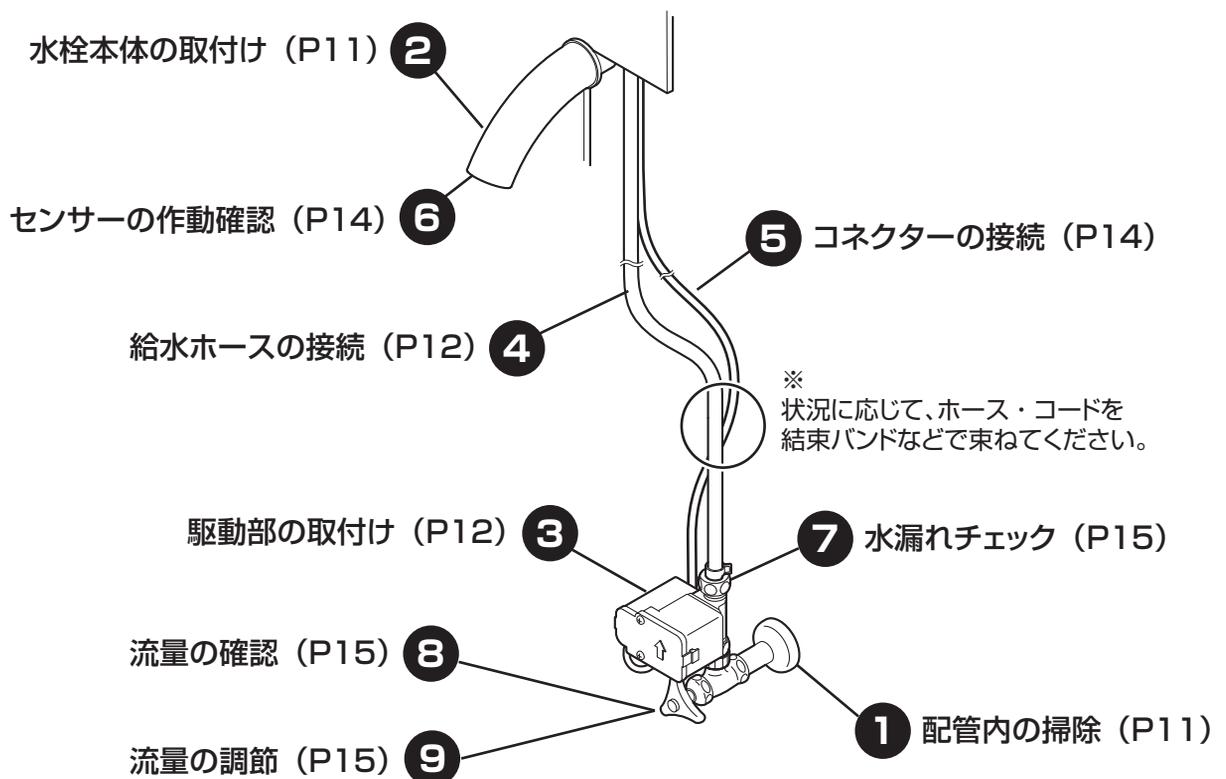
- プラスドライバー：
駆動部のフタをはずす時に必要です。



発電仕様【EY100HE-13】の場合



AC100V仕様【EY100-13】の場合



1 配管内の掃除

注 意

配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、

必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、
この場合には有償修理となります。

※ 配管内の掃除をした後は、必ず止水栓を閉めてください。

2 水栓本体の取付け

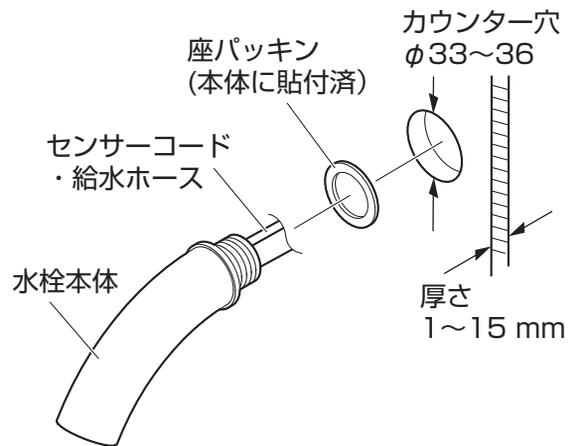
(1) 水栓本体を入れてください。

- ① カウンター穴の寸法を確認します。
- ② センサーコード・給水ホースをカウンター穴に通します。

※ 水栓本体を入れる前に、水栓本体からロックナット・菊座金・パッキンをはずしてください。

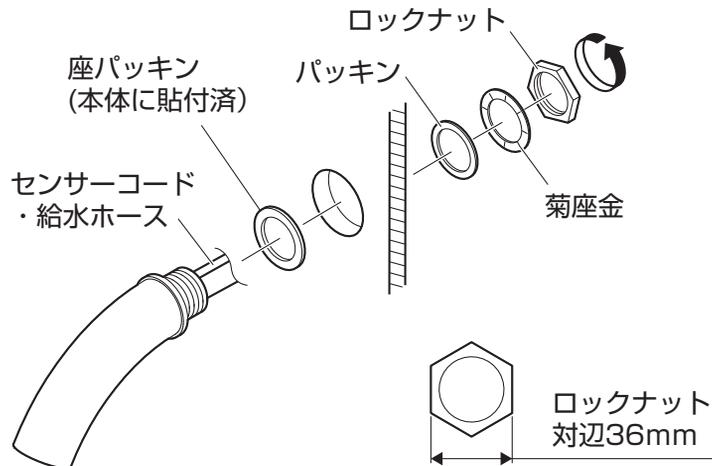
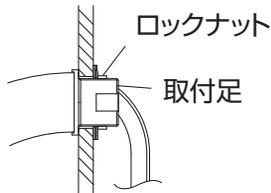
注意

- センサー感知窓や発電ユニット(AC100V仕様の場合は駆動部)とコード接続部が水にぬれたり、汚れ、傷がつかないように注意してください。
- あらかじめ洗面器の内部をきれいに拭いてください。
- 本製品のセンサーが正確に洗面器などを感知できるように、極端に斜めに向けて取付けないでください。
- カウンターに厚みのない場合や、取付面が弱い場合は補強材などを設けてください。



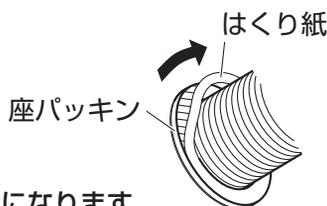
(2) パッキン・菊座金・ロックナットを水栓本体のセンサーコード・給水ホースに通し、水栓本体が正面を向くようにロックナットで固定してください。

水栓本体がカウンター穴の中心にくるように確実に本固定してください。



注意

- 座パッキン裏面のはくり紙をはがし水栓本体をカウンターに押しつけて固定してください。
- カウンター穴中央に施工してください。座パッキンが穴からずれると漏水の原因になります。
- 水栓本体に浮きがないよう注意してください。
- 給水ホースの折れに注意してください。破損・漏水の原因になります。
- 水栓本体とコード類のかみ込みみに注意してください。



注意

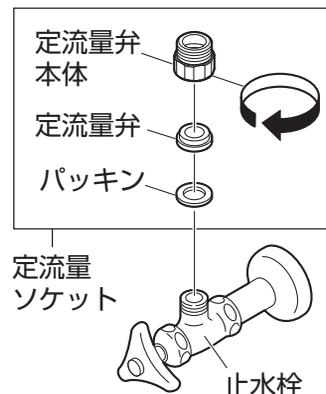
- 緩みがないように確実に締めてください。ナットが確実に締付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。
- パッキンが入っていることを確認してください。パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。

3 発電ユニット（AC100V仕様の場合は駆動部）の取付け

(1) 定流量ソケットのキャップを取りはずし、止水栓に取付けてください。

注意

- 定流量ソケットは、必ず取付けてください。破損の原因になります。
- 緩みがないように確実に締めてください。
定流量ソケットが確実に締付けられていないと、水漏れの原因になります。
- パッキンが入っていることを確認してください。
パッキンが入っていないと水漏れの原因になります。
- パッキンの傷、ゴミかみに注意してください。水漏れの原因になります。
- 定流量弁本体から定流量弁が落ちないように注意してください。
定流量弁がはずれた場合は、向きに注意して入れてください。



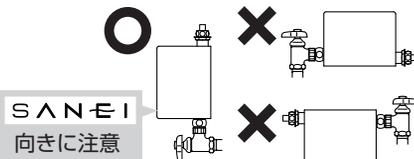
(2) 発電ユニット（AC100V仕様の場合は駆動部）のキャップを取りはずし、定流量ソケットに取付けてください。

注意

- ストレーナが入っていることを確認してください。
ストレーナが入っていないとゴミが混入し、故障の原因になります。
- ストレーナの向きに注意してください。
- 緩みがないように確実に締めてください。
確実に締付けられていないと、水漏れの原因になります。

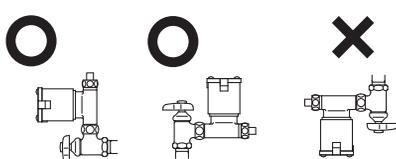
(発電仕様の場合)

- 発電ユニットは、図のような向きにしてください。
止水不良や水の浸入による故障の原因になります。



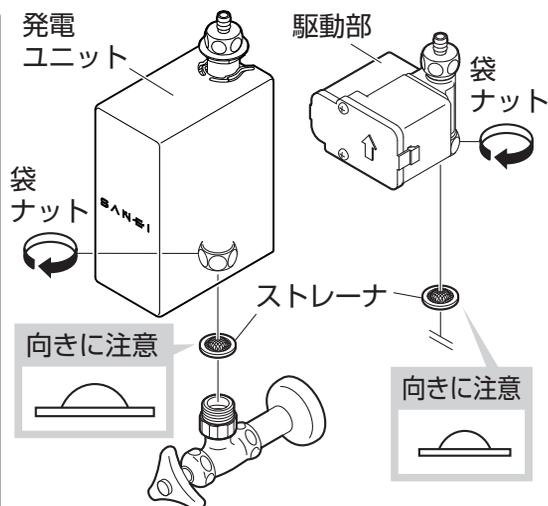
(AC100V仕様の場合)

- 駆動部は、上向きか、横向きに設置してください。
止水不良の原因となるおそれがあります。



■発電仕様の場合

■AC100V仕様の場合



※ 発電ユニットがガタつく場合は、ブラケットを取付けてください。参照：P30

4 給水ホースの接続

(1) 給水ホースをカッターなどで適切な長さ（ホースニップルに無理なく届く長さ）に切断してください。

注意

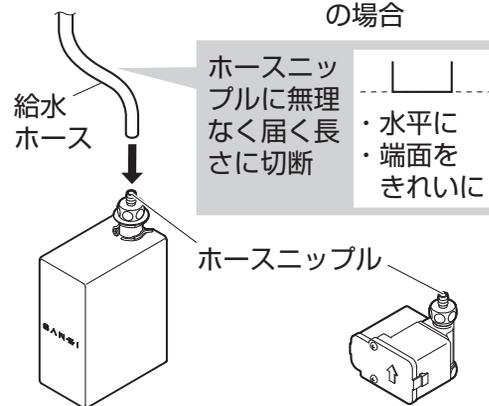
- 給水ホースの切断面は、必ず水平になるようにしてください。
- 給水ホースは必ず適切な長さに切断してください。
給水ホースが長すぎたり短すぎたりすると、ホースの折れの原因となります。

【ホース施工上の注意点】

- ※ 下記注意事項は必ず守ってください。
ホースが折れ、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。
- ホースを極端に屈曲しないでください。
- ホースを必要以上の力で曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。

■発電仕様の場合

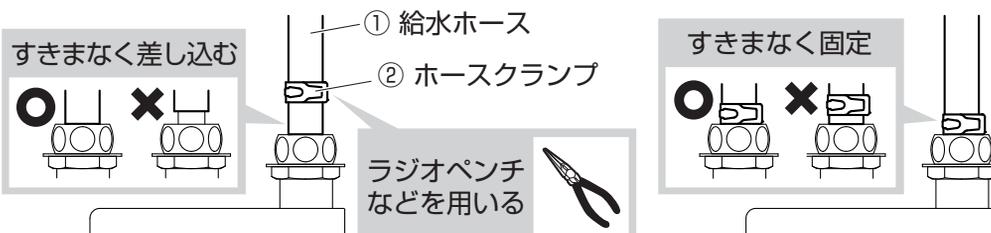
■AC100V仕様の場合



(2) 給水ホースをホースニップルに差し込み、ホースクランプで固定してください。

注意

- 給水ホースが確実に接続されていることを確認してください。
- 固定の際は必ずホースクランプを用いてください。



(AC100V仕様の場合は、P14に進んでください。)

発電仕様【EY100HE-13】の場合

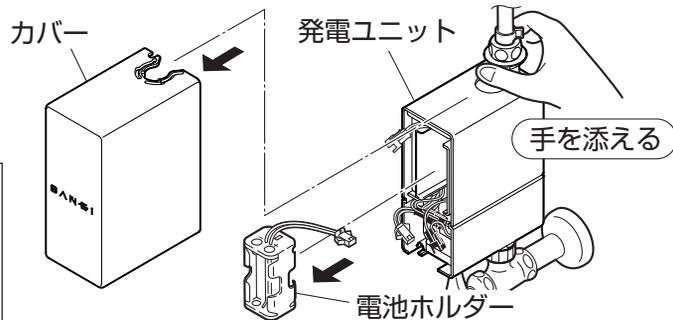
5 コネクタの接続

- (1) 発電ユニットのカバーをはずし、電池ホルダーを引き出してください。



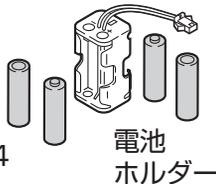
注意

- カバーをはずす際は、配管に手を添えてください。
- 電池ホルダーを引き出す際、誤って発電ユニット内部の仕切りを引き出さないでください。



- (2) 電池ホルダーにバックアップ電池を入れ、電池ホルダーを戻してください。

バックアップ電池
【リチウム電池(単3形)】×4



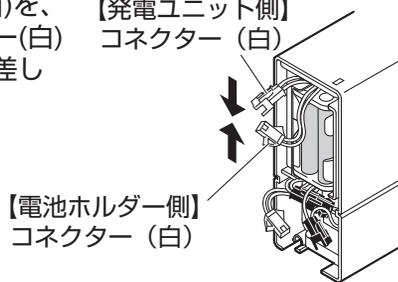
注意

- 電池は必ず入れてください。電池を入れないと、初期作動しません。
- 電池の方向に注意してください。

- (3) 電池ホルダーのコネクター(白)を、発電ユニット上部のコネクター(白)に「カチッ」と音がするまで差し込み、収納してください。

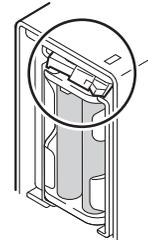
【電池ホルダー側】
コネクター (白)

【発電ユニット側】
コネクター (白)



注意

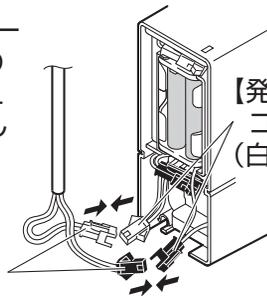
コネクターは必ず図の位置に収納してください。



- (4) 発電ユニット下部のコネクター(白)(黒)を、センサーコードのコネクター(白)(黒)にそれぞれ「カチッ」と音がするまで差し込み、収納してください。

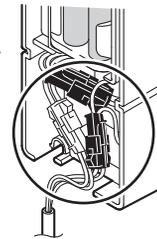
【センサーコード側】
コネクター(白)(黒)

【発電ユニット側】
コネクター
(白)(黒)



注意

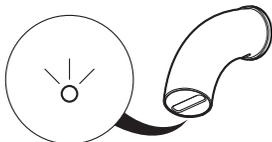
コネクターは必ず図の位置に収納してください。



6 センサーの作動確認

- (1) コネクター接続後、LED照明が3回点滅した後、消灯します。

LED照明
点滅

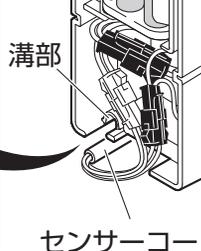
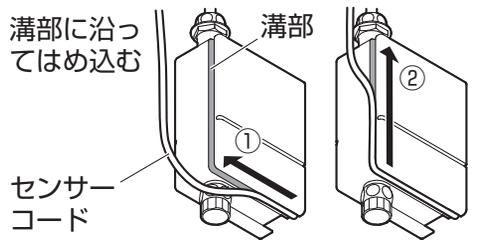


注意

- LED照明点滅中はセンサー正面に立ったり、障害物が入らないようにしてください。誤作動の原因になります。
- 正常に動作しない場合は、コネクターが確実に接続されているか確認してください。

- (2) センサーコードを発電ユニットの溝部に沿ってはめ込み、カバーを閉めてください。

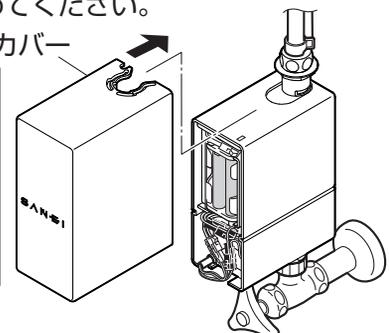
溝部に沿って
はめ込む



注意

カバーを閉める際、コードがかみ込まないように注意してください。

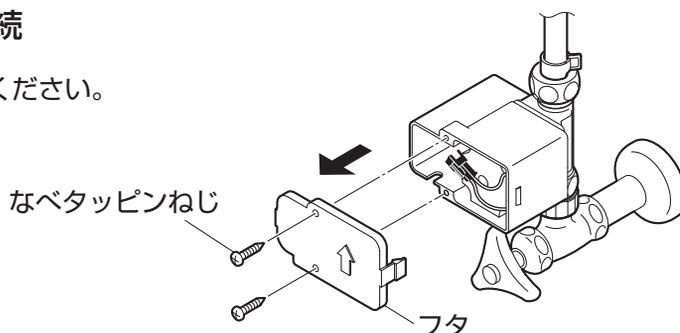
カバー



AC100V仕様【EY100-13】の場合

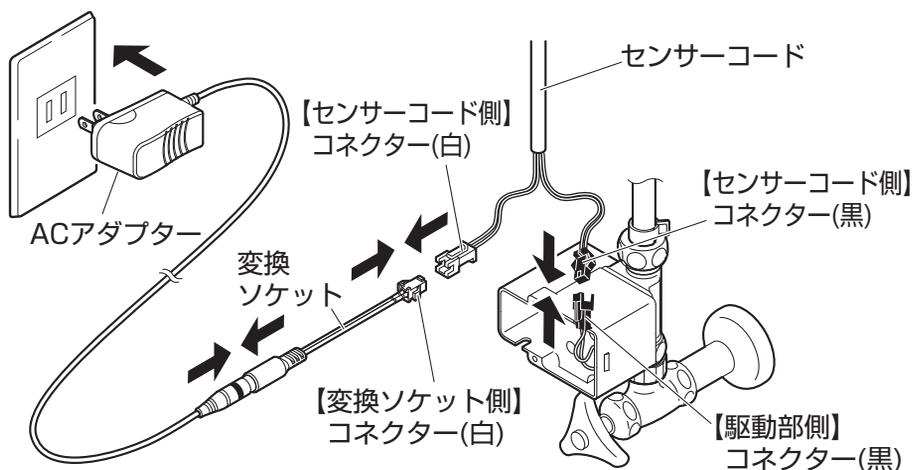
5 コネクターの接続

(1) フタをはずしてください。



(2) コネクター・変換ソケット・ACアダプターを接続してください。

- ① 変換ソケットのコネクター(白)と駆動部のコネクター(黒)を、センサーコードのコネクター(白)(黒)にそれぞれ「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
- ② ACアダプターと変換ソケットを接続し、ACアダプターをコンセントに差し込んでください。



6 センサーの作動確認

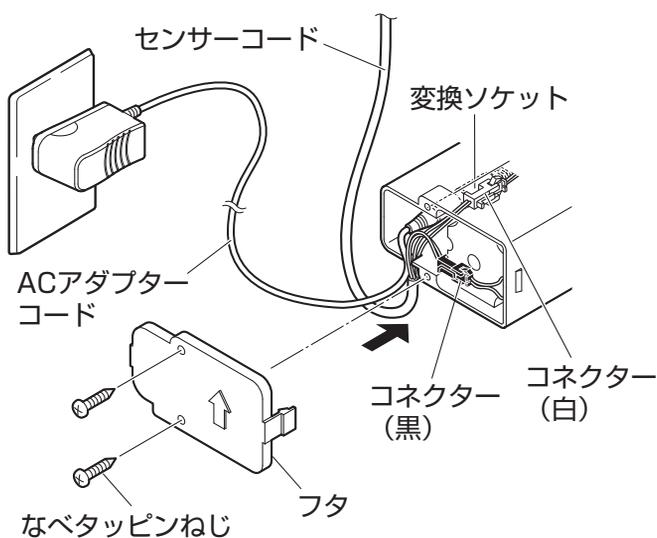
(1) ACアダプター差し込み後、LED照明が3回点滅した後、消灯します。



⚠ 注意

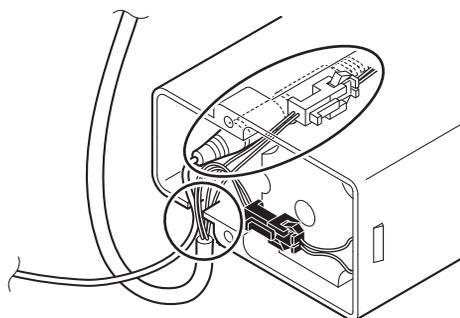
- LED照明点滅中はセンサー正面に立ったり、障害物が入らないようにしてください。誤作動の原因になります。
- 正常に動作しない場合は、コネクターが確実に接続されているか確認してください。

(2) コネクター・変換ソケットを駆動部の中に収納し、フタを取付けてください。



⚠ 注意

- 変換ソケットは必ず駆動部の中に収納してください。
- フタを取付ける際、コードがかみ込まないように注意してください。



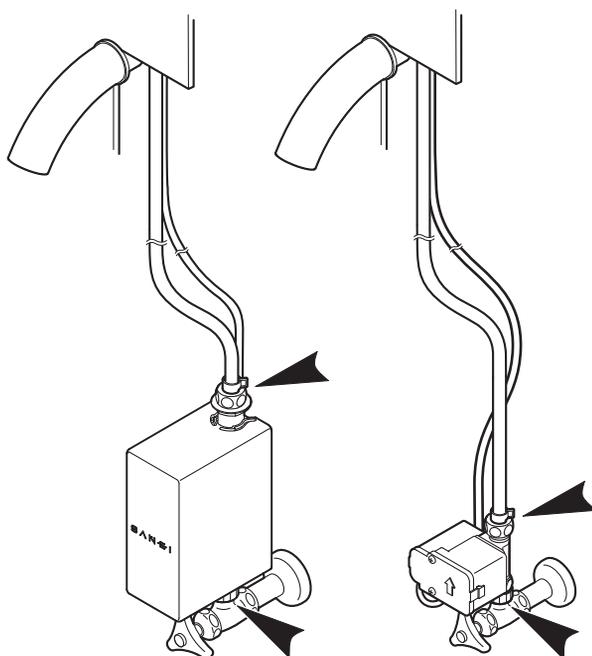
7 水漏れチェック

接続後、**止水栓を全開にして** 各部に水漏れがないか必ず確認してください。

水漏れがある場合は、**3** からやり直してください。

アドバイス

センサー付近に反射しやすい物（白い紙など）を感知させると、最大1分間水を出し続けることができます。



8 流量の確認

下記の手順で流量の確認を行ってください。

- (1) センサー前に手をかざし、水を出してください。
- (2) 500mlのペットボトルに水を溜めて、10秒以内に満水になることを確認してください。
- (3) 10秒以上かかる場合は、ストレーナや吐水口のゴミづまりが考えられます。ストレーナ・吐水口の掃除を行ってください。参照：P25～26

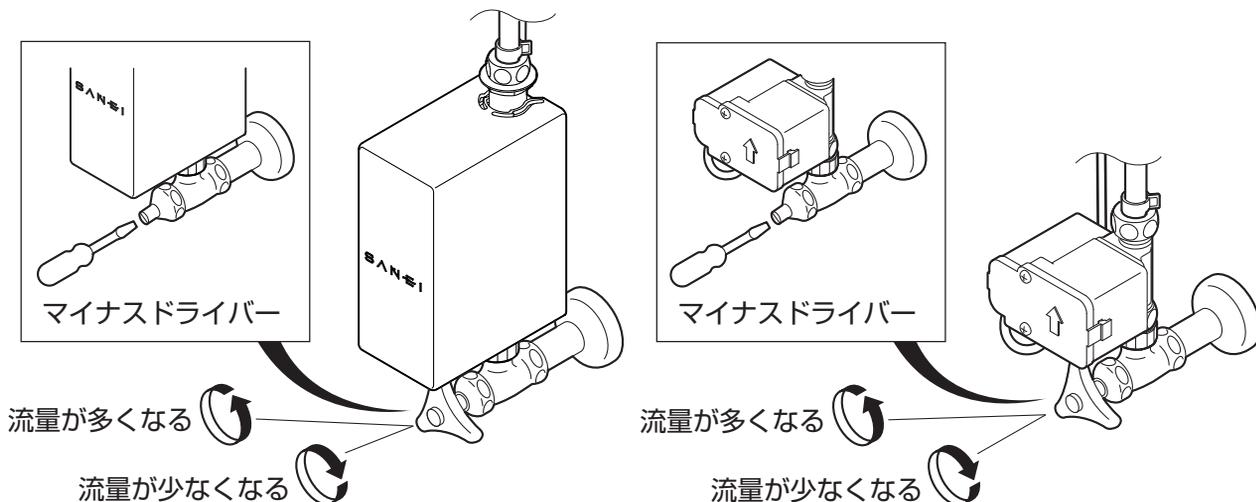


※
ストレーナ・吐水口の掃除をしても直らない場合は、止水栓で流量を調節してください。

参照：**9**

9 流量の調節

定流量弁が内蔵されているため流量の調節は必要ありませんが、取付現場の圧力などの条件により十分な流量が得られない場合は、止水栓で流量を調節してください。



流量の調節が完了したら、流量の確認を行ってください。参照：**8**

ご使用について

ご使用に関する安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

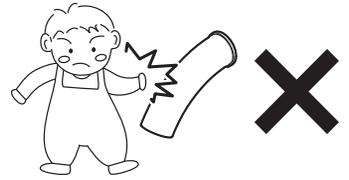
用語および記号の説明

- 警告** …………… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」
- 注意** …………… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
-  …………… 「注意しなさい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）
-  …………… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
-  …………… 「分解してはいけません！」
-  …………… 「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」
-  …………… 「水や液体をかけたり浸けてはいけません！」
-  …………… 「濡れた手でさわってはいけません！」
-  …………… 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）
-  …………… 「ACアダプターを抜いてください！」

警告



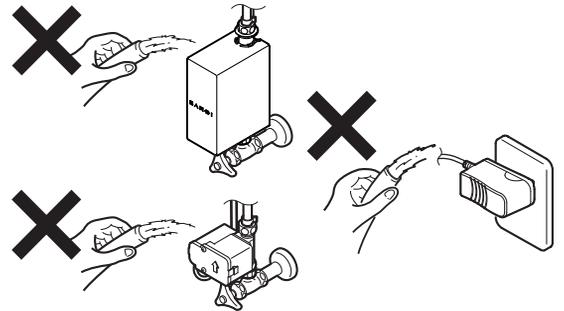
小さいお子様だけのご使用は、避けてください。
やけど・けがをするおそれがあります。



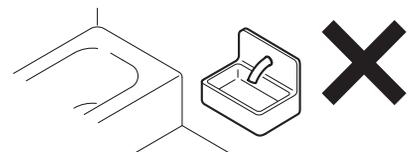
製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や漏水の原因になります。



製品に水や洗剤、汚水をかけないでください。
火災や感電、故障の原因になります。



浴室や屋外など、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

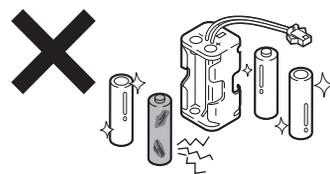


本製品は、日本国内のキッチン・洗面用です。
それ以外の条件下では使用しないでください。

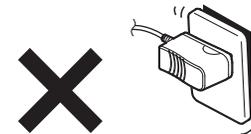
⚠ 警告



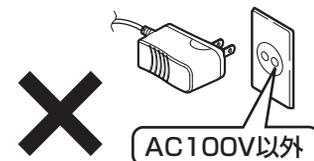
(発電仕様の場合)
新・旧および異なる種類の電池を混ぜて使用しないでください。
 電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚損する原因になります。



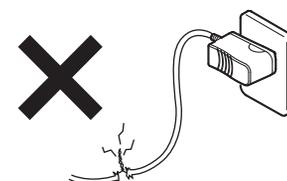
(AC100V仕様の場合)
ガタついているコンセントは使用しないでください。
 火災や感電の原因になります。



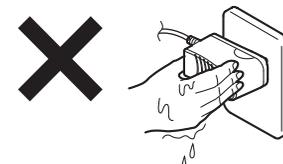
(AC100V仕様の場合)
指定された電源(AC100V)以外で使用しないでください。
 火災の原因になります。



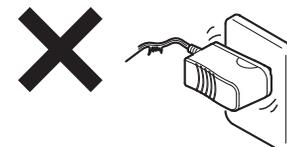
(AC100V仕様の場合)
電源コードの加工(切断・継ぎ足し)を行わないでください。
 火災や感電の原因になります。



(AC100V仕様の場合)
ACアダプターを濡れた手でさわらないでください。
 火災や感電の原因になります。



(AC100V仕様の場合)
電源コードやACアダプターが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
 火災や感電の原因になります。

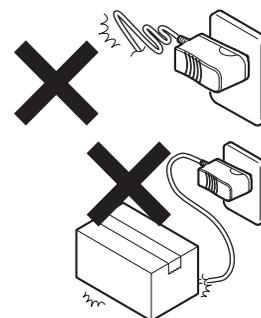


(AC100V仕様の場合)
ACアダプターおよび電源コードが破損するようなことをしないでください。

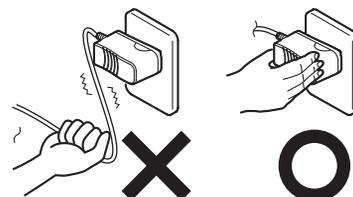
【してはいけない例】

- 傷つける
- 加工する
- 無理に曲げる
- ねじる
- 引っ張る
- 重いものを載せる
- 挟み込む
- 加熱する

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。



(AC100V仕様の場合)
ACアダプターを抜くときは、必ずACアダプター本体を持って抜いてください。
 火災や感電の原因になります。



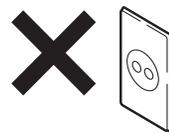
(AC100V仕様の場合)
ACアダプターをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。
 火災や感電の原因になります。



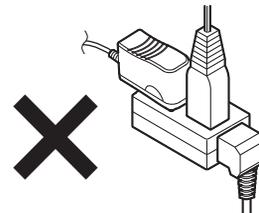
警告



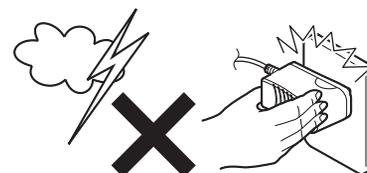
(AC100V仕様の場合)
直流電源や異電圧の電源での使用は避けてください。
火災の原因になります。



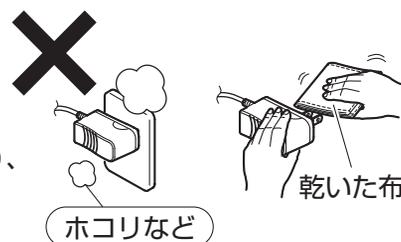
(AC100V仕様の場合)
コンセントや配線器具の定格を超える使用は避けて
ください。
火災の原因になります。



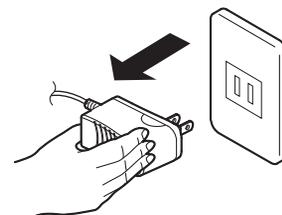
(AC100V仕様の場合)
雷が発生しているときは、ACアダプターに
さわらないでください。
感電の原因になります。



(AC100V仕様の場合)
ACアダプターについてのホコリは、取り除いて
ください。
ACアダプターにホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、
火災の原因になります。
ACアダプターを抜き、乾いた布で拭いてください。



(AC100V仕様の場合)
長期間使用しないときは、止水栓または配管部の
元栓を閉め、ACアダプターを抜いてください。
誤作動や故障などによる、予想しない事故の原因になります。



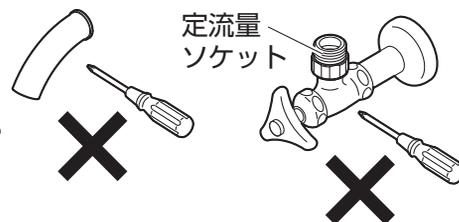
注意



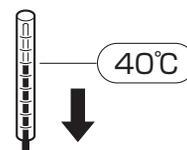
使い始めの水がにおう場合は、しばらく流してからお使いください。
しばらく使われないと、水栓内の水は消毒用の塩素が少なくなり、におうことがあります。



●分解は、保守・点検の決められた項目以外
はしないでください。
●定流量ソケットは、はずさないでください。
器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財
などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



通水温度は最高40℃まででお使いください。
40℃以上でご使用になると器具の寿命が短くなります。



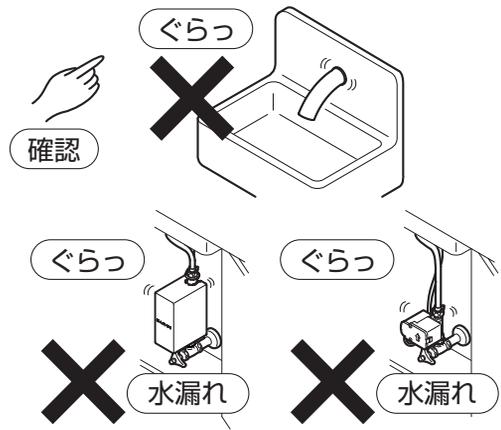
凍結が予想される場所でご使用になる場合
は、凍結予防を確実に実施してください。
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のお
それがあります。参照：P23



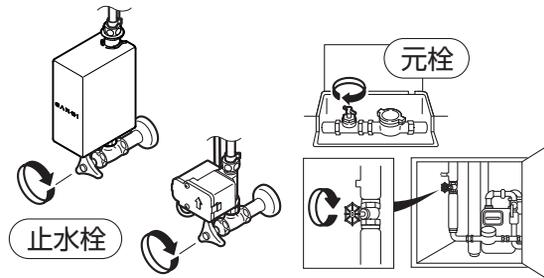
⚠️ 注意



定期的に、配管周りの水漏れやガタツキがないか確認してください。劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



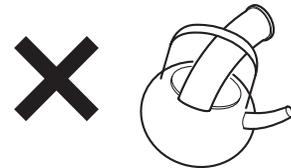
長期間使用しない時は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。水漏れなどの事故の原因になります。



解氷機やアースを水栓に通電しないでください。水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



本体に重いものを下げたり、力をかけて回したりしないでください。変形、破損および本体の固定がゆるむおそれがあります。

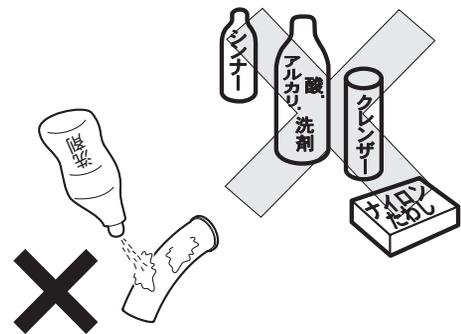


メッキ面がはがれた場合、放置しないでください。メッキ面がはがれた部分でケガをするおそれがあります。



本体をお手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。

- 使用してはいけないもの
- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
 - ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
 - クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
 - ナイロンたわし・メラミンフォームなど
本体の割れや変色変質の原因となります。



洗剤・薬品が本体に付着した場合はすぐにきれいに拭き取ってください。本体の割れや変色変質の原因となります。



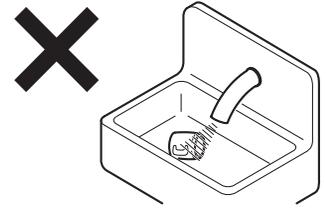
使用する時は、吐水口をふさがらないでください。誤作動の原因になります。



⚠ 注意



感知領域内に障害物が入らないようにしてください。
誤作動の原因になります。



センサー正面の壁に鏡などの反射物を設置しないでください。
誤作動の原因になります。



直射日光の当たる場所で使用しないでください。
誤作動の原因になります。



一日に1回程度は吐水させるようにしてください。
長時間使用していないと、電磁弁が固着し吐水しなくなるおそれがあります。

ご使用について 吐水・止水

差し出された手を感知すると自動吐水し、遠ざけると自動止水します。

1 感 知		水栓内のセンサーが吐水口下の手を約0.5秒で感知します。
2 吐 水		<p>手を感知したセンサーから、感知信号が発電ユニット（AC100V仕様の場合は駆動部）へ送られ電磁弁が開き、水が出ます。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">吐水時に泡沫水流をあわく光らせます。 (OFF機能有 参照：P21)</p>
3 止 水		感知しなくなって約1秒で自動止水します。
自動 止水機能	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>吐水</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>約1分後</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>自動的に止水</p> </div> </div> <p>●約1分間連続感知すると自動的に止水します。</p>	

⚠ 注意

1分間連続吐水後の止水状態の時、手や物がセンサー検知範囲内にあっても、止水時と同じ位置のままでは吐水しません。(この状態の時、赤ランプが 5回点滅 → 5秒消灯 → 5回点滅 → … を繰り返します)
再度吐水させる場合は手や物をセンサー検知範囲外に動かしてから、改めてセンサー検知範囲内に動かしてください。

ご使用について

センサーについて

- 本製品のセンサーには、赤外線を使用しています。赤外線を透過してしまうもの（透明のコップなど）は、感知することができません。感知物の形によっても、感知しにくくなる場合があります。
- 洗面器（手洗器）内に水を溜めていると、感知する場合があります。
- 光を反射しやすい洗面器（手洗器）に設置した場合、洗面器（手洗器）の形状によっては、感知範囲外でも感知する場合があります。

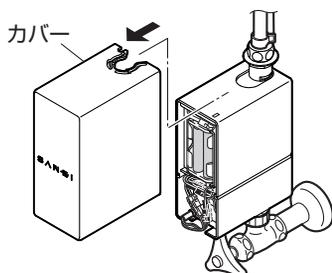
ご使用について

LED照明のOFF機能について

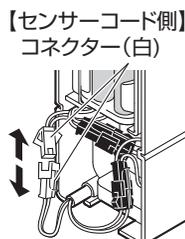
- 吐水時に点灯するLED照明は、OFFにすることができます。

発電仕様【EY100HE-13】の場合

- (1) 発電ユニットのカバーをはずしてください。



- (2) センサーコード側のコネクタ（白）の接続をはずしてください。

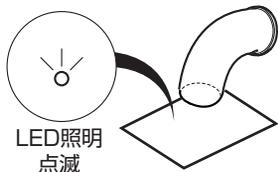


- (3) 水栓本体のセンサー部に、白い紙などを近づけてコネクタ（白）を接続してください。

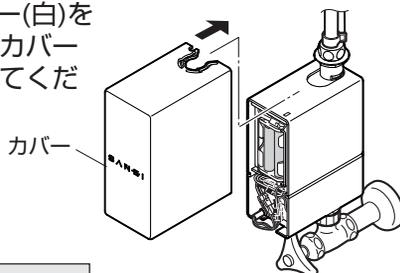
この時、紙はセンサー部から約1~5cm離してください。（本体に近づけすぎると、正常に設定できない場合があります。）



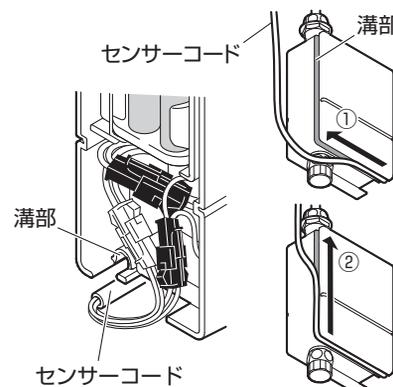
- (4) コネクタ接続後、LED照明が点滅を繰り返します。LED照明の点滅を確認してから、紙などを離してください。



- (5) コネクタ（白）を取納し、カバーを取付けてください。



- センサーコードが発電ユニットの溝部からはずれた場合は、溝部に沿ってはめ直してください。



注意

- コネクタは必ず図の位置に収納してください。
- カバーを閉める際、コードがかみ込まないように注意してください。

注意

正常に動作しない場合は、コネクタが確実に接続されているか確認してください。

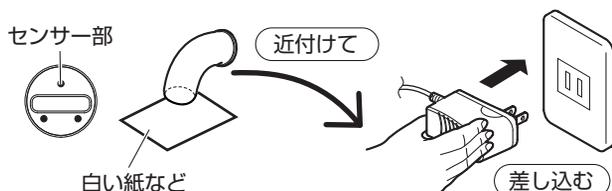
ONにする場合…センサー部に紙などを近づけずに、コネクタをもう一度はずし、接続してください。その後、P13 ⑥に進み、センサーの作動確認を行ってください。

AC100V仕様【EY100-13】の場合

- (1) ACアダプターを抜いてください。



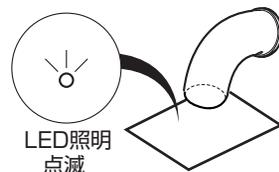
- (2) 水栓本体のセンサー部に、白い紙などを近づけてACアダプターを差し込んでください。この時、紙はセンサー部から約1~5cm離してください。（本体に近づけすぎると、正常に設定できない場合があります。）



- (3) ACアダプターを差し込んだ後、LED照明が点滅を繰り返します。LED照明の点滅を確認してから、紙などを離してください。

注意

正常に動作しない場合は、ACアダプターが確実に差し込まれているか確認してください。



ONにする場合…センサー部に紙などを近づけずに、ACアダプターをもう一度抜き、差し込んでください。その後、P14 ⑥に進み、センサーの作動確認を行ってください。

ご使用について

電池の取替え（発電仕様の場合）

電池が消耗すると、吐水口部のLED照明が10秒毎に点滅します。

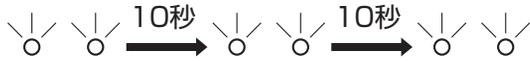
LED照明点滅

■ 第一段階



電池が消耗するとLED照明が1回点滅します。点滅開始後、約1000回あるいは10日間程度は使用可能ですが、早めに新しい電池と取替えてください。

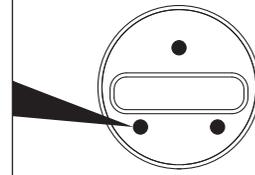
■ 第二段階



LED照明が2回点滅になると作動しなくなります。新しい電池と取替えてください。

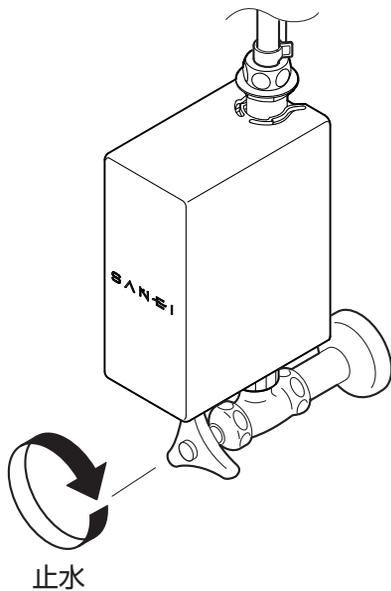
⚠ 注意

- センサー部や発電ユニットとコード接続部が水にぬれたり、汚れ、傷つかないように注意してください。
- あらかじめ洗面器の内部をきれいに拭いてください。

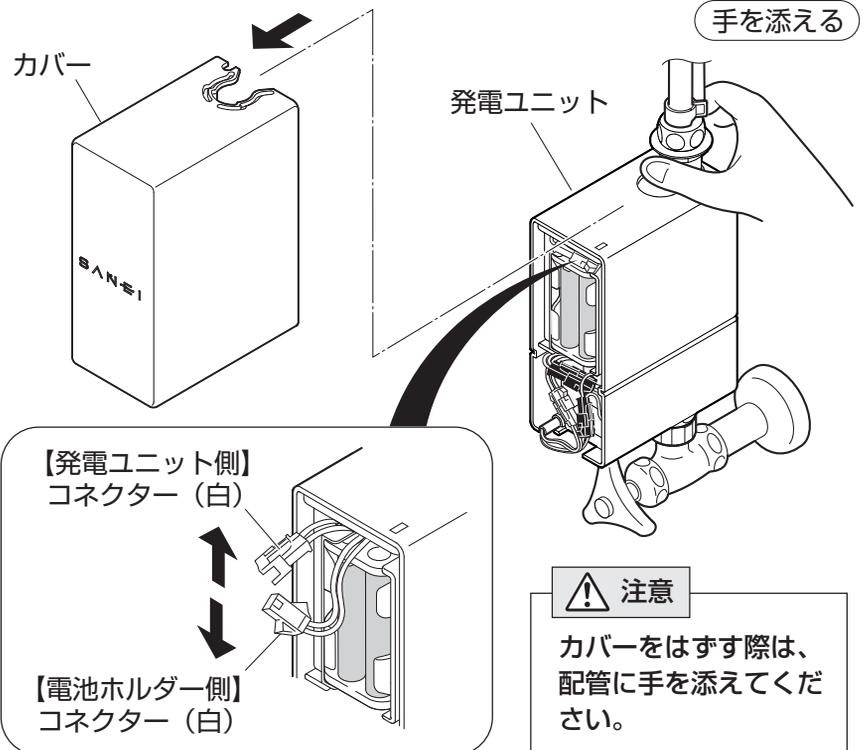


電池(市販)
【リチウム電池(単3形)】×4

(1) 止水栓のハンドルを右に回し、止水してください。



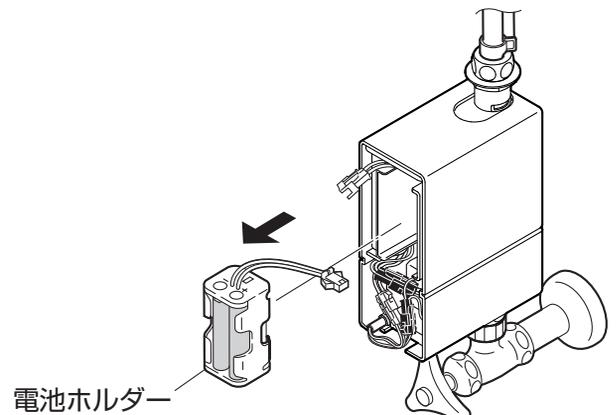
(2) 発電ユニットのカバーをはずし、発電ユニット上部のコネクター（白）の接続をはずしてください。



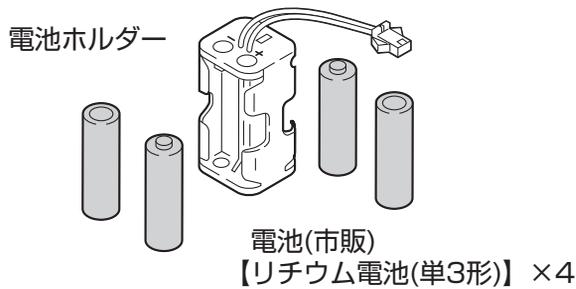
(3) 電池ホルダーを引き出してください。

⚠ 注意

電池ホルダーを引き出す際、誤って発電ユニット内部の仕切りを引き出さないでください。



(4) 市販のリチウム電池(単3形)4本を入れ、電池ホルダーを戻してください。



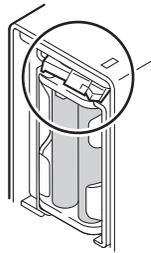
お願い

- 電池は必ず入れてください。
電池を入れないと、初期作動しません。
- リチウム電池をご使用ください。
- 電池の方向に注意してください。
- 新しい電池と古い電池、または異なる種類の電池を混ぜて使用しないでください。
- 使い切った電池は、早めに取り出してください。
- 充電式の電池は使用しないでください。
- 電池に記載の注意事項をお守りください。

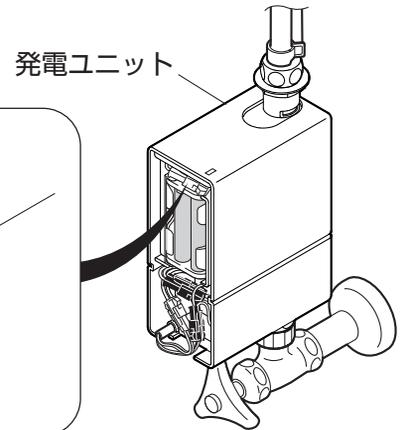
(5) 電池ホルダーのコンネクター(白)を、発電ユニット上部のコンネクター(白)に「カチッ」と音がするまで差し込み、収納してください。

注意

コンネクターは必ず図の位置に収納してください。



【発電ユニット側】
コンネクター(白)
↓
↑
【電池ホルダー側】
コンネクター(白)



(6) コンネクター接続後、LED照明が3回点滅した後、消灯します。



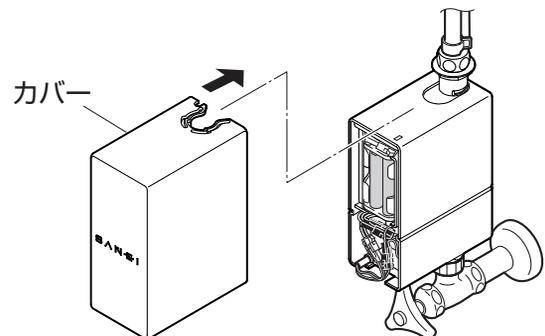
注意

- LED照明点滅中はセンサー正面に立ったり、障害物が入らないようにしてください。誤作動の原因になります。
- 正常に動作しない場合は、コンネクターが確実に接続されているか確認してください。

(7) カバーを閉めてください。

注意

カバーを閉める際、コードがかみ込まないように注意してください。



ご使用について 凍結予防

凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 配管部などに保温材を巻いてください。
 - 屋内の窓を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
- ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。



日頃のお手入れ

製品の掃除

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなることがあります。
快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

⚠ 注意



次のものは使用しないでください。
変色や傷みのおそれがあります。

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわし・メラミンフォームなど



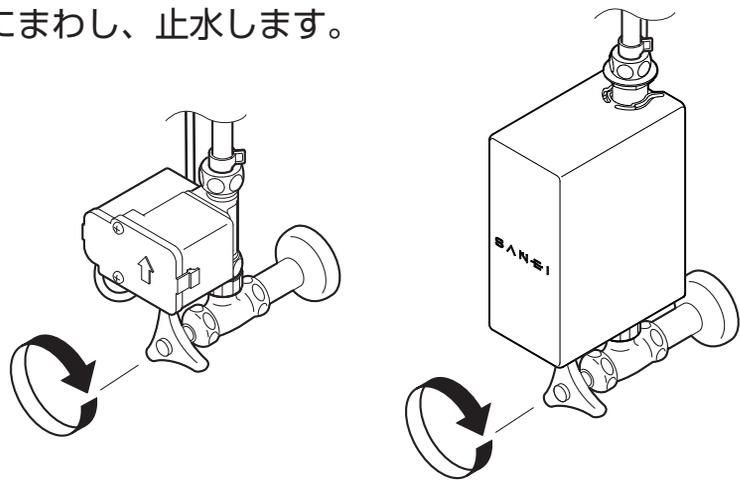
洗剤・薬品が本体に付着した場合は、
すぐにきれいに拭き取ってください。
本体の割れや変色変質の原因となります。



日頃のお手入れ

センサー部の掃除

1 止水栓のハンドルを右にまわし、止水します。



2 水またはぬるま湯に浸した綿布で汚れを拭き取ります。

汚れがひどい場合は、綿布にうすめた
食器用中性洗剤を含ませて拭き取った
後水拭きしてください。

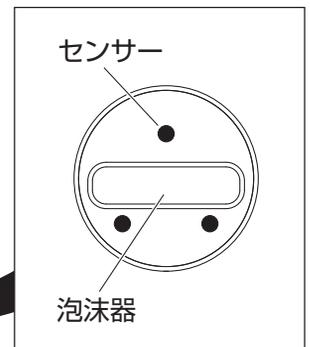
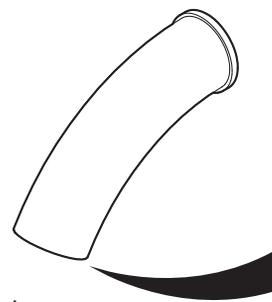


拭き取り時にセンサー部に
傷をつけないでください。

2 掃除



綿布



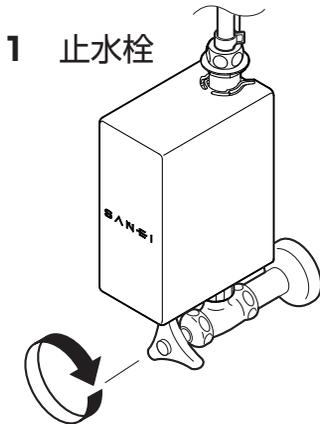
ストレーナ・吐水口の汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できないことがあります。

快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

(近所で水道工事があつたり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。)

■ストレーナを掃除する場合

- 1 止水栓のハンドルを右にまわし、止水します。
- 2 水受を用意し、発電ユニットをはずします。
- 3 ハブラシなどでストレーナを掃除します。



1 止水栓



注意

作業中、発電ユニットをぶら下げないでください。



3 掃除

ハブラシなど

掃除後

部品を逆の手順で取付けます。

※ 発電ユニットをはずした場合は、P12 **3** の手順に従い、正しく取付けてください。



注意

- ストレーナの向きに注意してください。
- 緩みがないように確実に締めてください。確実に締付けられていないと、水漏れの原因になります。

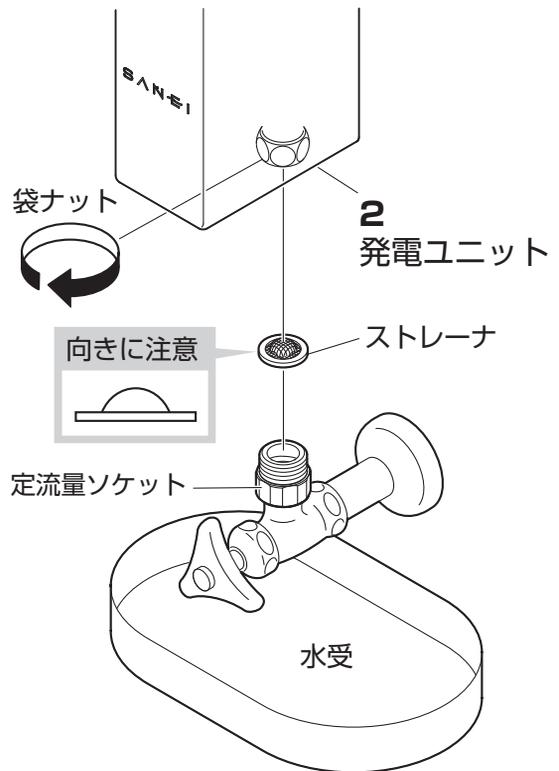
再使用時

- 発電ユニットが確実に閉まっているか確認してください。
- 止水栓を開いて水漏れ・流量の確認を行ってください。参照：P15 **7** **8**



注意

- 定流量ソケットは、はずさないでください。
- センサー部や発電ユニットとコード接続部が水にぬれたり、汚れ、傷がつかないように注意してください。
- あらかじめ洗面器の内部をきれいに拭いてください。誤作動の原因になります。



袋ナット

2

発電ユニット

向きに注意

ストレーナ

定流量ソケット

水受

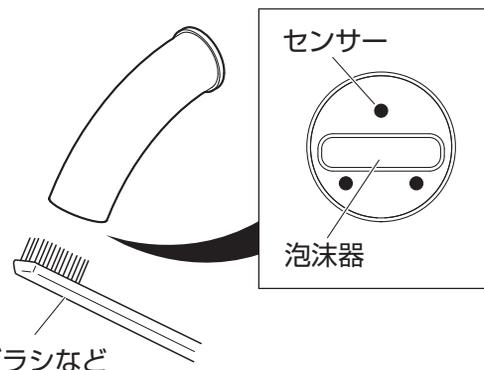
■吐水口を掃除する場合

ハブラシなどで泡沫器部分を掃除します。



注意

掃除する際はセンサー部に傷をつけないでください。



センサー

泡沫器

ハブラシなど

ストレーナ・吐水口の汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できないことがあります。

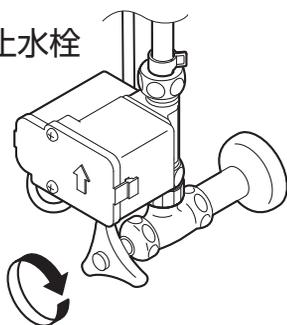
快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

(近所で水道工事があったり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。)

■ストレーナを掃除する場合

- 1 止水栓のハンドルを右にまわし、止水します。
- 2 水受を用意し、駆動部をはずします。
- 3 ハブラシなどでストレーナを掃除します。

1 止水栓



注意

作業中、駆動部をぶら下げないでください。

3 掃除



ハブラシなど

掃除後

部品を逆の手順で取付けます。

※ 駆動部をはずした場合は、P12 **3** の手順に従い、正しく取付けてください。



注意

- ストレーナの向きに注意してください。
- 緩みがないように確実に締めてください。
確実に締付けられていないと、水漏れの原因になります。

再使用时

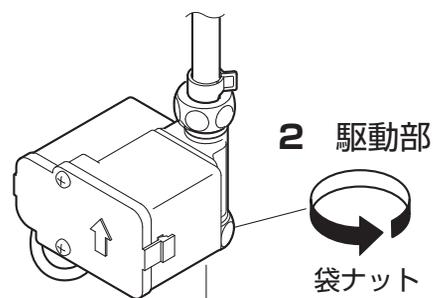
- 駆動部が確実に閉まっているか確認してください。
- 止水栓を開いて水漏れ・流量の確認を行ってください。参照：P15 **7 8**



注意

- 定流量ソケットは、はずさないでください。
- センサー部や駆動部とコード接続部が水にぬれたり、汚れ、傷がつかないように注意してください。
- あらかじめ洗面器の内部をきれいに拭いてください。
誤作動の原因になります。

2 駆動部



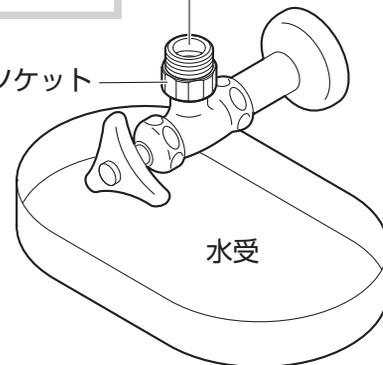
袋ナット

向きに注意



ストレーナ

定流量ソケット



水受

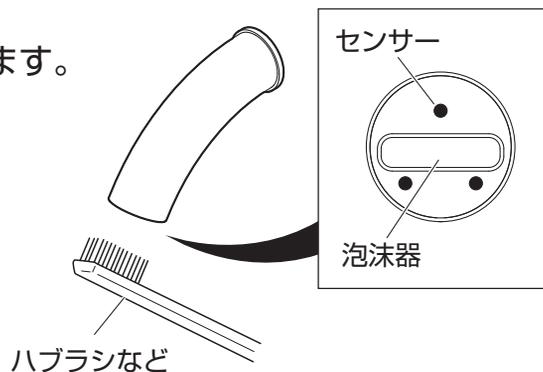
■吐水口を掃除する場合

ハブラシなどで泡沫器部分を掃除します。



注意

掃除する際はセンサー部に傷をつけないでください。



ハブラシなど

センサー

泡沫器

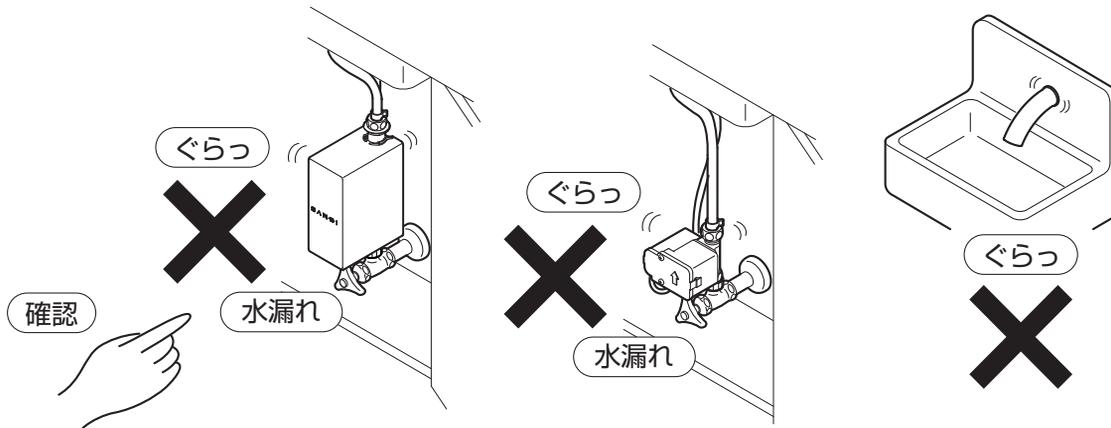
定期的な点検

配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。（年2回を目安）

定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。（年2回を目安）

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



漏水を確認した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。

修理の依頼をされる場合は、「保証とアフターサービス」（P34）を参照してください。

定期的な点検

流量の確認

定期的に、流量が適正であるか確認してください。（月1回を目安）

発電仕様の場合、流量が少ないと発電量が不足するおそれがあります。

下記の手順で流量の確認を行ってください。

- (1) センサー前に手をかざし、水を出してください。
- (2) 500mlのペットボトルに水を溜めて、10秒以内に満水になることを確認してください。
- (3) 10秒以上かかる場合は、ストレーナや吐水口のゴミづまりが考えられます。ストレーナ・吐水口の掃除を行ってください。参照：P25～26



※ ストレーナ・吐水口の掃除をしても直らない場合は、止水栓で流量を調節してください。

参照：P15 **9**

こんなときは 故障？ その前に（発電仕様の場合）

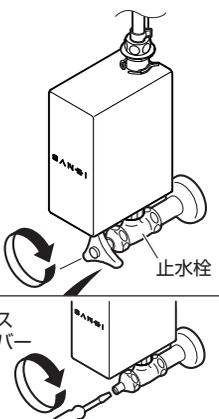
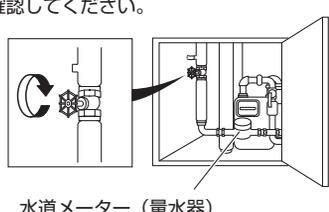
修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

現象	点検項目	処置
作動しない。	電池が入っていますか。	電池を入れる。 参照：P13 5
	電池の＋が違って入っていませんか。	電池を正確に入れる。 参照：P13 5
	電池切れではないですか。	新しい電池を入れる。 参照：P22～23
	電池のコネクターの接続が不十分ではありませんか。	コネクターを一度はずし、再度接続する。 参照：P13 5
センサーが反応しない。 〔正常コネクターを接続した直後、LED照明が3回点滅します。〕	10秒間隔で2回点滅していませんか。	新しい電池を入れる。 参照：P22～23
	センサー部が汚れていませんか。	センサー部を掃除する。 参照：P24
	コネクターの接続が不十分ではありませんか。	コネクターを一度はずし、再度接続する。 参照：P13 5
	LED照明が点滅していませんか。 参照：P20	障害物を取り除く。 センサー部を掃除する。 参照：P24
センサーは反応するが湯水が出ない。	水圧が使用範囲より高くありませんか。	配管などに減圧弁を設置して水圧を下げる。 参照：P7
	止水栓は開いていますか。	止水栓を開き、流量を調節する。 参照：P15 9
湯水の出が悪い。	ストレーナ・泡沫器にゴミが詰まっていますか。	ストレーナ・吐水口の掃除をする。 参照：P25
湯水が止まらない。	センサー部が汚れていませんか。	センサー部を掃除する。 参照：P24
センサーが勝手に反応する。	センサーの近くに反射物はありませんか。	センサーの近くの反射物などを取り除く。 参照：P6
	直射日光が入っていませんか。	直射日光が入らないようにする。 参照：P6
湯水が勝手に出る。	インバータや赤外線を用いた他の機器を近くで使用していませんか。	誤作動の原因となる機器を取り除く。 参照：P6
通常より手を近づけないと反応しなくなる。	センサー部が汚れていませんか。	センサー部を掃除する。 参照：P24
バックアップ電池の寿命が短い。 (発電量が少ない)	使用回数(1日に流す水量)が少なくありませんか。	使用回数を増やす。 参照：P33
	吐水量が少なくありませんか。	止水栓を開き、吐水量を増やす。 参照：P15 9

以上の点検を実施されても、不具合がなくなる場合はお手数ですがお買上げの販売店（工事店）に修理をご依頼ください。

漏水した場合の処置

漏水した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。

止水栓の閉め方	元栓の閉め方
<p>カウンター下に止水栓がある場合、ハンドルをまわして水を止めてください。</p>  <p>マイナスドライバー</p>	<p>元栓ボックス（メーターボックス）のふたを開け、元栓を右にまわして閉めます。 ※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。 ※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。 ※一部の地域では左まわしの場合があります。 ※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。</p> <p>■ 戸建て住宅などの元栓ボックス： 主に玄関やガレージ付近の地面にあります。古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあったりします。</p> <p>●キー式 ●ハンドル式</p>  <p>止水栓キー SANEI品番：PR30A（止水栓キー）</p> <p>水道メーター（量水器）</p> <p>■ マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス： 主に玄関を出た階の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。</p>  <p>水道メーター（量水器）</p>

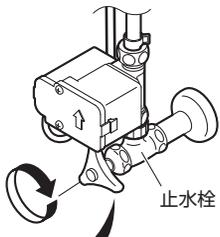
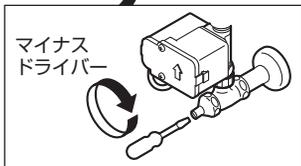
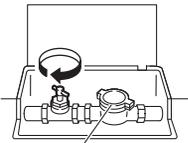
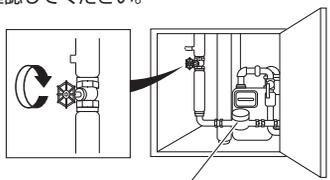
こんなときは 故障? その前に(AC100V仕様の場合)

現象	点検項目	処置
作動しない。	コネクターの接続が不十分ではありませんか。	コネクターを一度はずし、再度接続する。 参照：P14 5
センサーが反応しない。 〔正常 ACアダプターを差し 込んだ直後、LED照 明が3回点滅します。〕	センサー部が汚れていませんか。	センサー部を掃除する。 参照：P24
	コネクターの接続が不十分ではありませんか。	コネクターを一度はずし、再度接続する。 参照：P14 5
	LED照明が点滅していませんか。 参照：P20	障害物を取り除く。 センサー部を掃除する。 参照：P24
センサーは反応するが 湯水が出ない。	水圧が使用範囲より高くありませんか。	配管などに減圧弁を設置して水圧を下げる。 参照：P7
	止水栓は開いていますか。	止水栓を開き、流量を調節する。 参照：P15 9
湯水の出が悪い。	ストレーナ・泡沫器にゴミが詰まっていますか。	ストレーナ・吐水口の掃除をする。 参照：P26
湯水が止まらない。	センサー部が汚れていませんか。	センサー部を掃除する。 参照：P24
センサーが勝手に反応 する。	センサーの近くに反射物はありませんか。	センサーの近くの反射物などを取り除く。 参照：P6
	直射日光が入っていませんか。	直射日光が入らないようにする。 参照：P6
湯水が勝手に出る。	インバータや赤外線を用いた他の機器を近くで使用していませんか。	誤作動の原因となる機器を取り除く。 参照：P6
通常より手を近づけないと反応しなくなる	センサー部が汚れていませんか。	センサー部を掃除する。 参照：P24

以上の点検を実施されても、不具合がなくならない場合はお手数ですがお買上げの販売店（工事店）に修理をご依頼ください。

漏水した場合の処置

漏水した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。

止水栓の閉め方	元栓の閉め方
<p>カウンター下に止水栓がある場合、ハンドルをまわして水を止めてください。</p>  <p>止水栓</p>  <p>マイナスドライバー</p>	<p>元栓ボックス（メーターボックス）のふたを開け、元栓を右にまわして閉めます。 ※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。 ※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。 ※一部の地域では左まわしの場合があります。 ※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。</p> <p>■ 戸建て住宅などの元栓ボックス： 主に玄関やガレージ付近の地面にあります。 古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあったりします。</p> <p>●キー式</p>  <p>止水栓キー SANEI品番： PR30A（止水栓キー）</p> <p>●ハンドル式</p>  <p>水道メーター（量水器）</p> <p>■ マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス： 主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。 お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。</p>  <p>水道メーター（量水器）</p>

こんなときは 本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。

ブラケットの取付方法

発電ユニットがガタつく場合は、ブラケットを取付けてください。

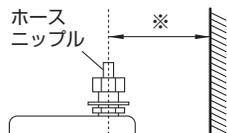
SANEI品番：

R641 (分岐止水栓ブラケット) ※42~65mm

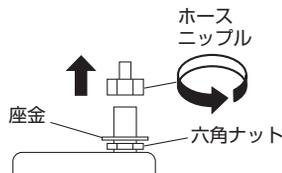
R641T-S (止水栓ブラケット) ※35~59mm

R641T-L (止水栓ブラケット) ※59~83mm

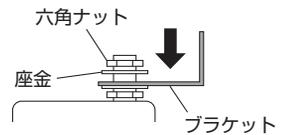
上記(*)に記載の数値は、壁からホースニップル中心までの距離です。寸法に合ったブラケットをお求めください。



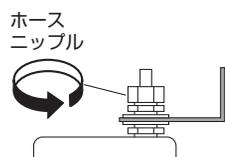
① 発電ユニット上部のホースニップルをはずします。



② ブラケットを取付け、その上に同梱の座金・六角ナットを取付けます。



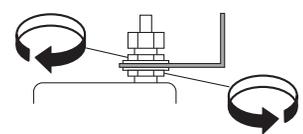
③ ホースニップルを取付けます。



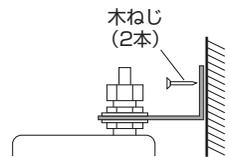
注意

ホースニップルは確実に締めてください。ホースニップルが確実に締付けられていないと、水漏れの原因になります。

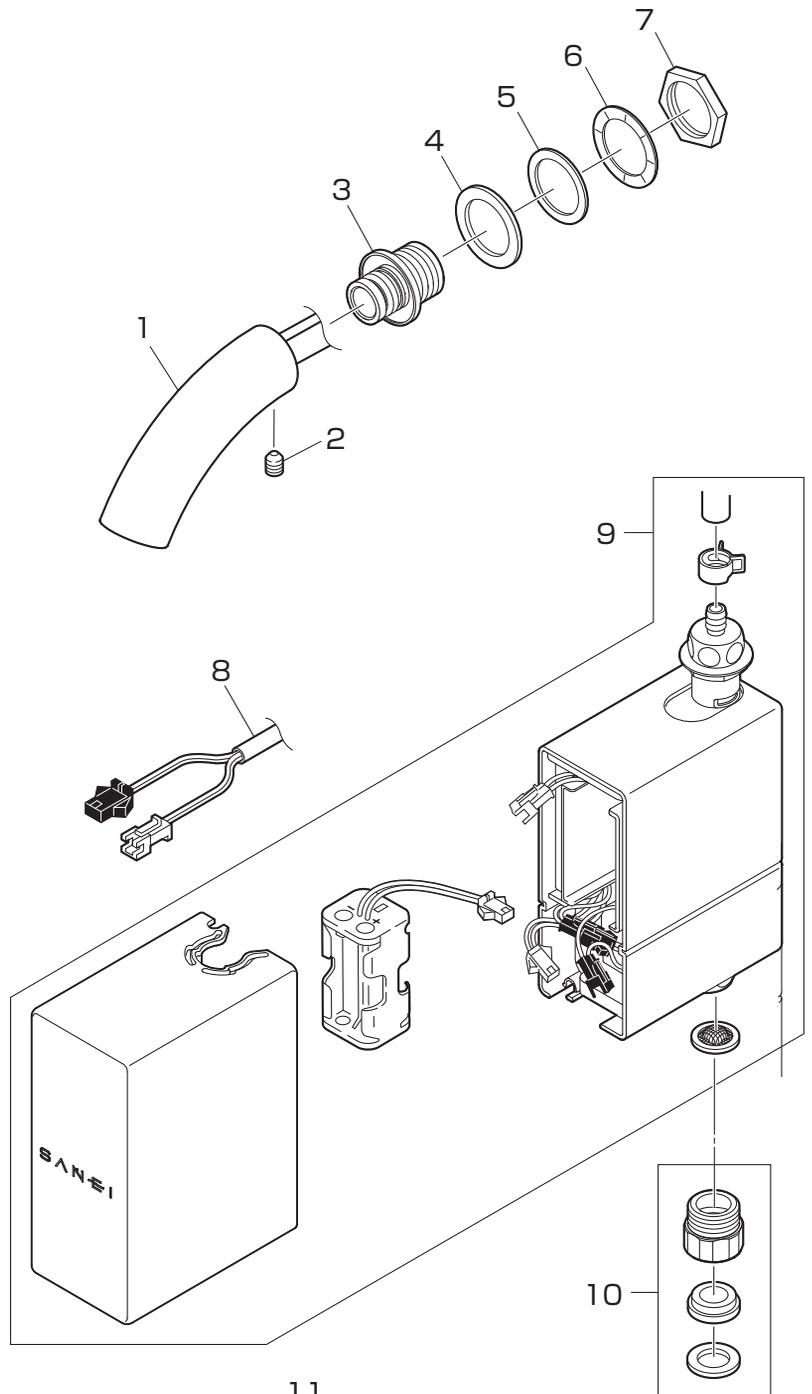
④ ブラケットを挟み込むように、上下の六角ナットを締付けます。



⑤ ブラケットのねじ穴(2箇所)を同梱の木ねじ(2本)で固定します。

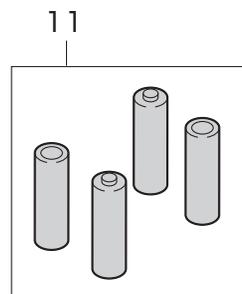


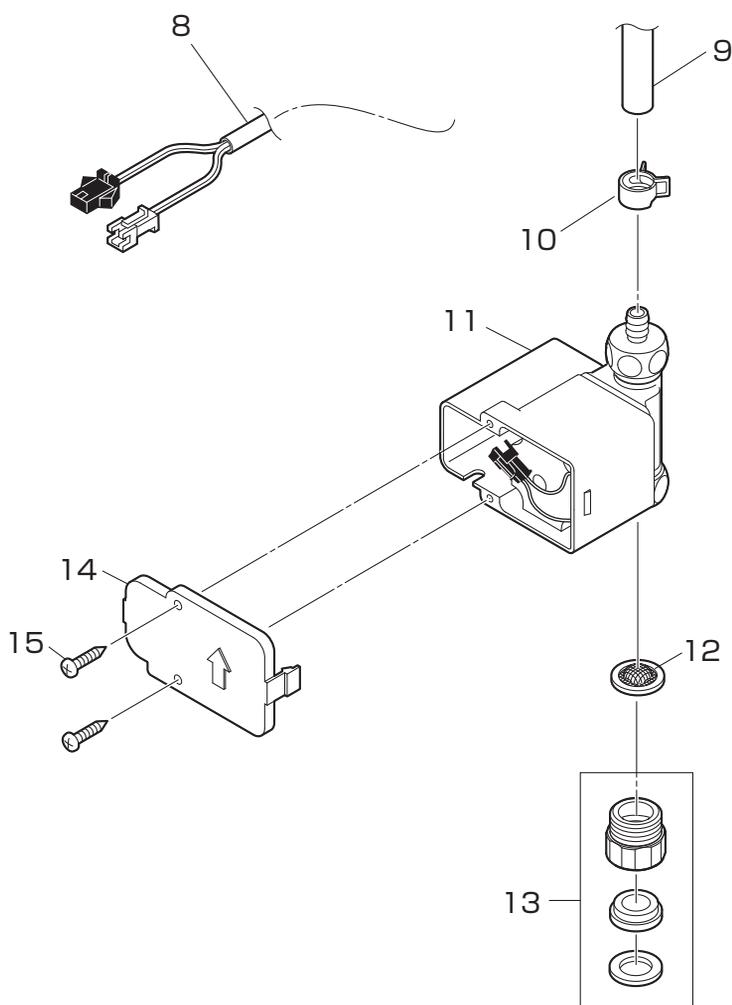
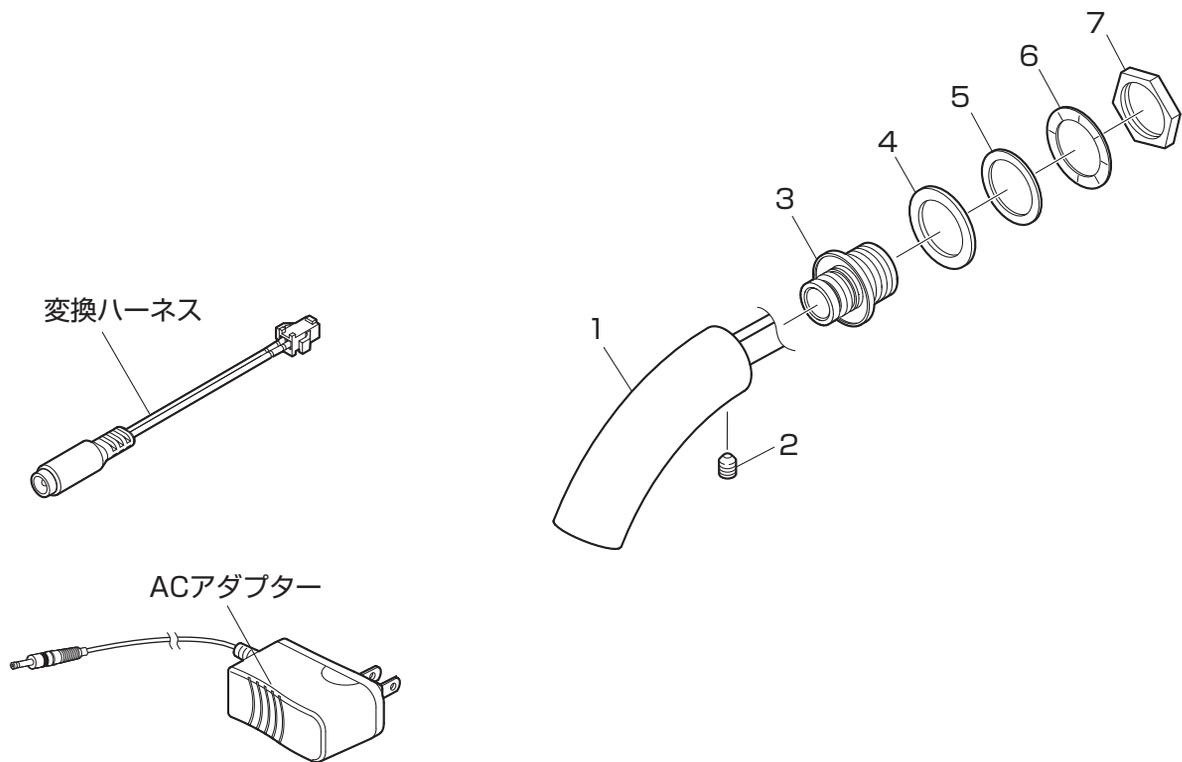
※ 取付完了後、P12 ④ に進んでください。



EY100HE-13

1. 水栓本体
2. 止めねじ
3. 取付足
4. 座パッキン
5. パッキン
6. 菊座金
7. ロックナット
8. センサーコード
9. 発電ユニット
10. 定流量ソケット
11. バックアップ電池





EY100-13

1. 水栓本体
2. 止めねじ
3. 取付足
4. 座パッキン
5. パッキン
6. 菊座金
7. ロックナット
8. センサーコード
9. ホース
10. ホースクランプ
11. 駆動部
12. ストレーナ
13. 定流量ソケット
14. フタ
15. なべタッピンねじ

仕 様

発電仕様【EY100HE-13】の場合

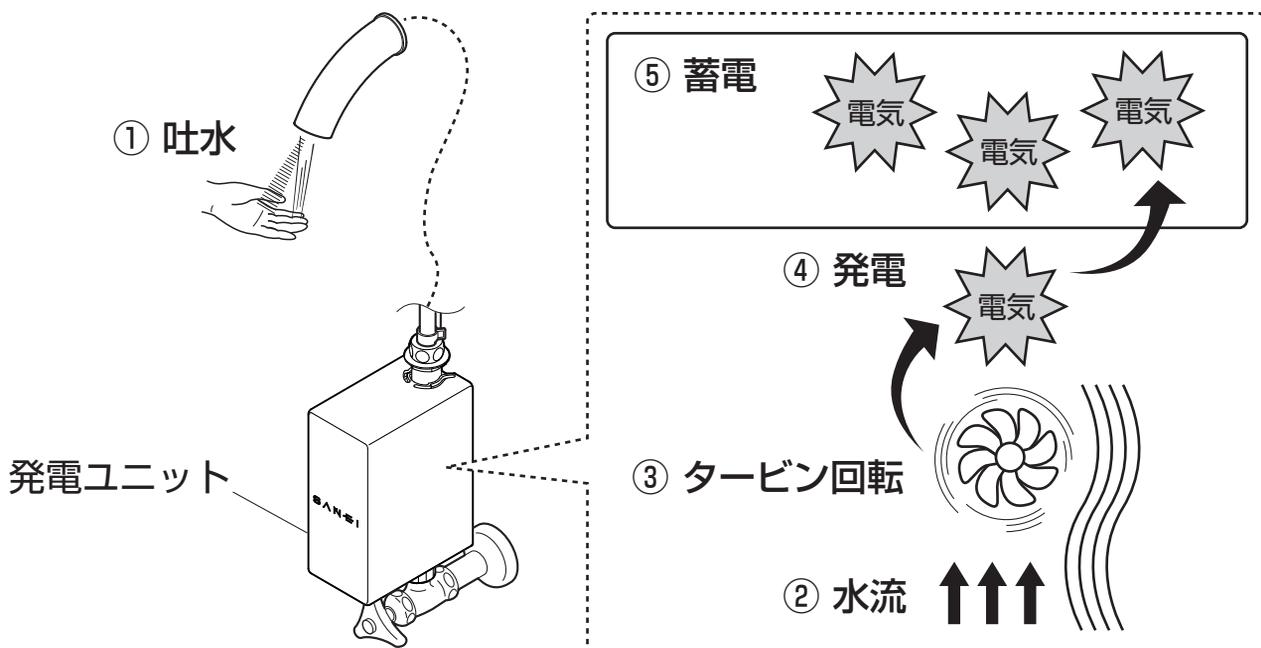
製品番号	EY100HE-13
消費電力	待機時：0.3mW ----- 動作時：最大値3W
給水圧力	最低水圧：0.1MPa(流動圧) ----- 最高水圧：0.75MPa(静水圧)
使用可能水質	水道水
適正流量	3~4L/分(4L/分定流量弁内蔵)
使用水温	0℃~40℃(凍結不可)
使用環境温度	1℃~40℃
連続吐水時間	最大1分 (使用者の手を1分間以上連続感知した時に自動閉止)
感知距離	約50~150mmの間で自動調節
給水接続	G1/2

AC100V仕様【EY100-13】の場合

製品番号	EY100-13
電 源	50/60Hz
消費電力	待機時：0.3mW ----- 動作時：最大値3W
給水圧力	最低水圧：0.1MPa(流動圧) ----- 最高水圧：0.75MPa(静水圧)
使用可能水質	水道水
適正流量	3~4L/分(4L/分定流量弁内蔵)
使用水温	0℃~40℃(凍結不可)
使用環境温度	1℃~40℃
連続吐水時間	最大1分 (使用者の手を1分間以上連続感知した時に自動閉止)
感知距離	約50~150mmの間で自動調節
給水接続	G1/2

発電のしくみ（発電仕様の場合）

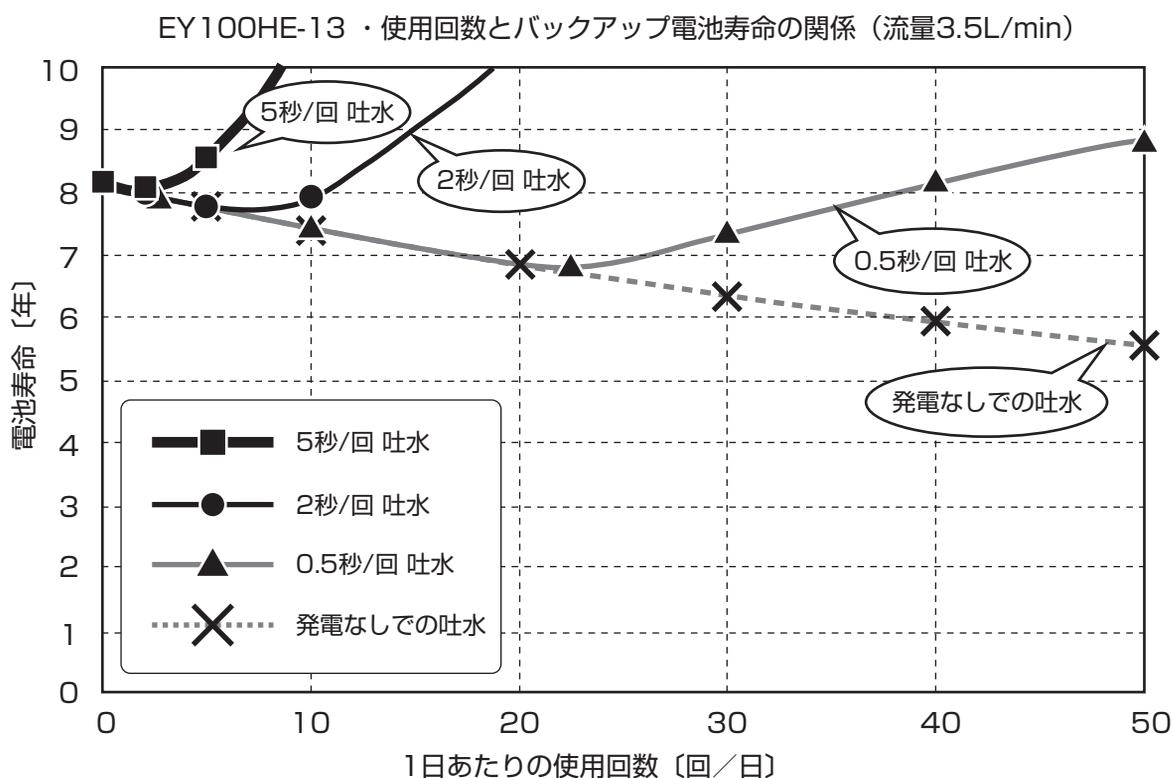
吐水すると、発電ユニット内のタービンが回転し、電気エネルギーが発生します。
発生した電気エネルギーはユニット内に蓄電され、今後の作動のためのエネルギーとなります。



リチウム電池の寿命（発電仕様の場合）

リチウム電池の寿命は、使用条件により異なります。
これは、使用回数・吐水時間により発電量が異なるためです。

初期作動の場合や蓄電量が不足している場合、長時間使用していない場合は、電池で作動します。
電池で作動する割合が大きければ大きいほど、電池の寿命は短くなります。



※ グラフのデータは試験値(雰囲気温度20℃)であり、保証値ではありません。

保証とアフターサービス

〔保証について〕

- この製品は保証書の内容に従って保証されています。
お買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名が記入してあることを確認してください。
- 保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。
保証期間は保証書を確認してください。
- 保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

〔水栓の定期的な点検・部品交換について〕

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考え、早め(3~5年)の点検・交換をおすすめします。(交換時期は、使用環境などにより異なります。)

定期点検・部品交換

使用年数

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |

お客様による日常のお手入れ・点検

摩耗劣化部品の交換

買替え
ご検討

日頃のお手入れについてはP24~26、定期的な点検についてはP27をご確認ください。

摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に摺動する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。

摩耗劣化部品の例
電装部品(センサー)・ストレーナ・パッキン・オーリングなど

部品が摩耗劣化すると操作性低下、機能障害、劣化物流出や水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。
部品の詳細についてはP30~31を参照してください。

〔補修用性能部品の供給期間〕

この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの)の供給期間は製造中止後10年です。

〔修理の依頼と部品交換の依頼について〕

- 修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店(工事店)又は当社
- 連絡していただきたい内容：
 - 住所、氏名、電話番号
 - 品番、品名
 - お買上げ(お取付け)年月日
 - 故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、
部品交換の依頼
 - 訪問希望日

●当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。

「技術料」……診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。

「部品代」……修理および部品交換に使用した部品代。(無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。)

「出張料」……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

品番を確認するには水栓の右側下部に貼付のシールをご確認ください。



〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

- まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。
ご不明な場合は当社カスタマーセンターへお問合せください。

SANEI 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
カスタマーセンター ☎ 0120-06-9721
受付時間 9:00~17:30(土日祝除く)
ホームページ <https://www.sanei.ltd>

水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事をお約束するものです。

保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店(工事店)にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。

お買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名など記入もれがありますと無効となります。

必ずご確認ください、記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

品番	品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。		販売店 工事店	店名 住所 電話 ()
保証期間	対象部品	期間(お買上げ日/お取付け日から)		
	本体	2ヵ年		
お買上げ日 (お取付け日)	年 月 日			
お客様	お名前 様			
	ご住所			
	電話 ()			

＜無料修理規定＞ ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。

- 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
- ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店(工事店)に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
 - 温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
 - お買上げ(お取付け)後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
 - 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)及び外部ノイズなどに起因する不具合
 - 消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
 - 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
 - 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
 - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
 - ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
 - 砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
 - 寒冷地仕様の製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の凍結による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

★ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店(工事店)、または当社にお問合せください。

★ 補修用性能部品の保有期間についてご不明の場合は当社カスタマーセンターへお問合せください。

修理メモ

SANEI 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号

カスタマーセンター ☎ 0120-06-9721

受付時間 9:00~17:30(土日祝除く)

ホームページ <https://www.sanei.ltd>